

資料2

事業用自動車事故発生状況及び事故の特徴について

近畿運輸局 自動車技術安全部保安・環境課

近畿地域事業用自動車安全対策会議

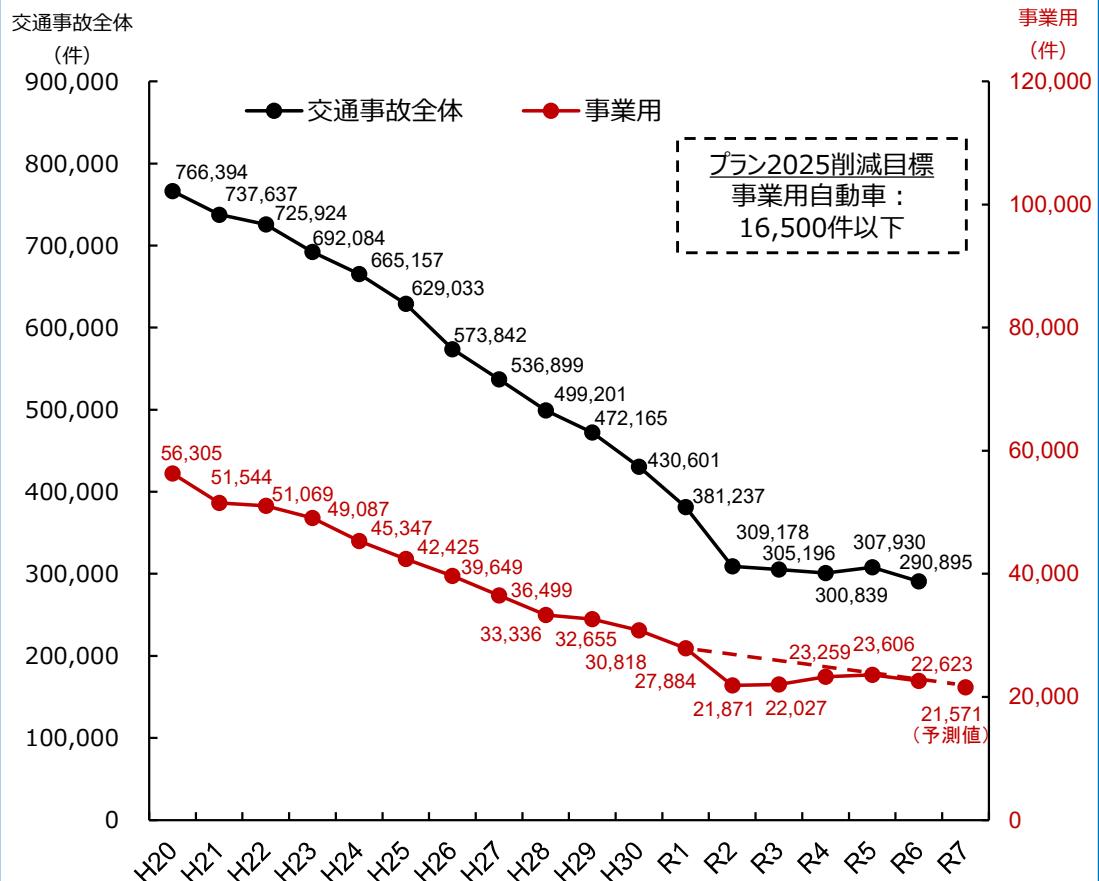
事業用自動車による交通事故件数の推移

- 令和6年中に発生した交通事故全体の件数(人身事故件数)は290,895件、そのうち、事業用自動車の交通事故件数^{※1}は22,623件であった。^{※1} 事業用自動車が第一当事者である人身事故件数

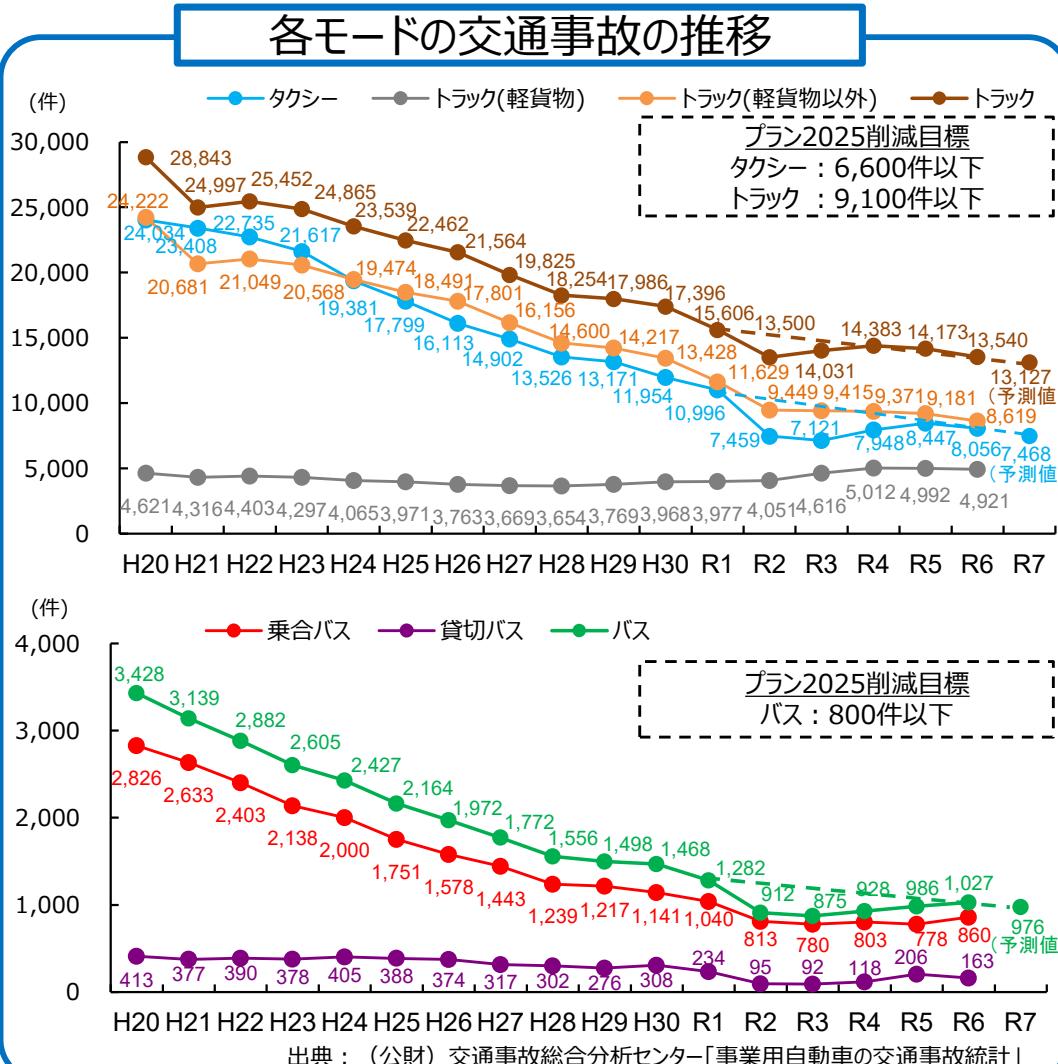
- 令和元年^{※2}と比較して令和6年の交通事故件数は軽貨物以外の全モードにおいて減少している。

^{※2} プラン2025より前の年であって、コロナ禍の影響がなかった直近の年

交通事故全体と事業用自動車の交通事故の推移



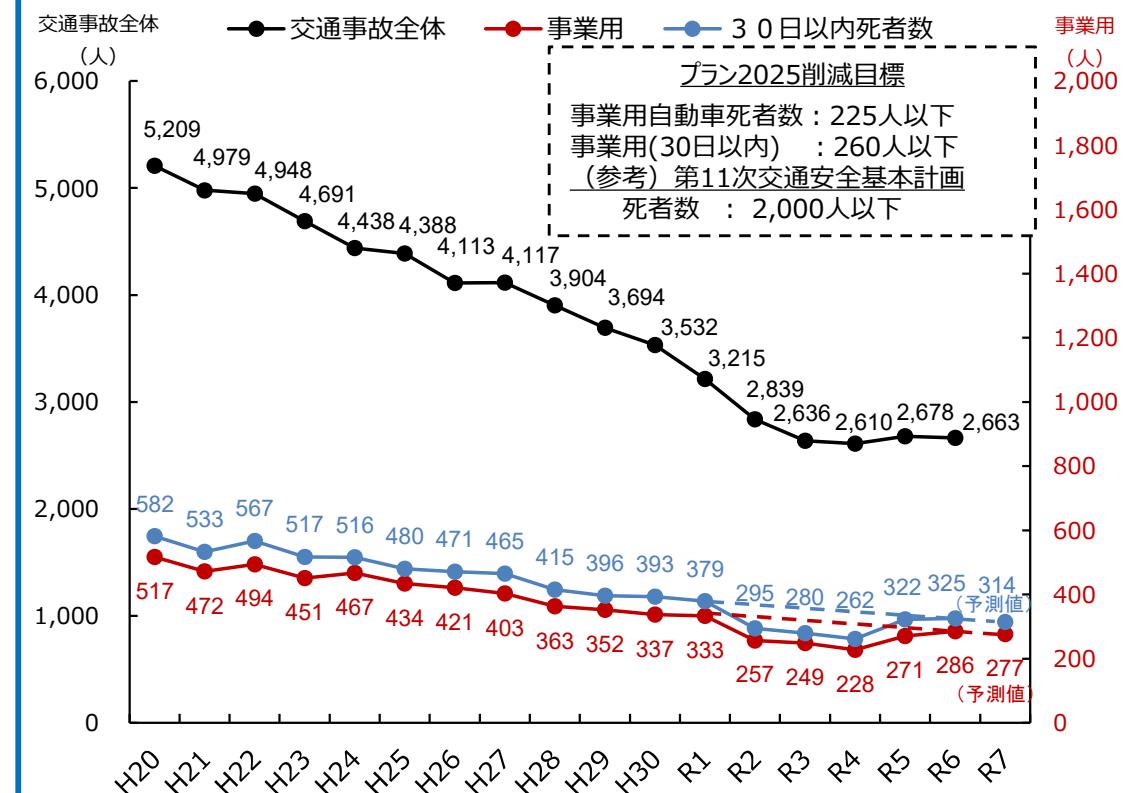
各モードの交通事故の推移



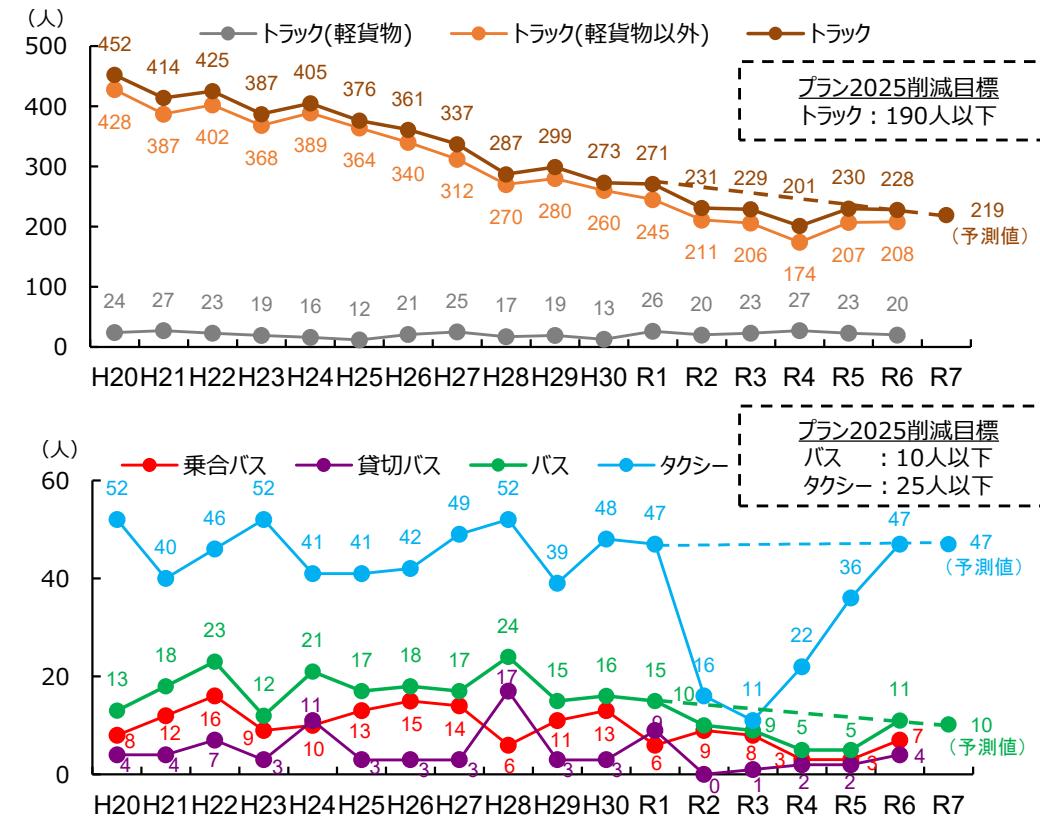
事業用自動車による交通事故死者数の推移

- 令和6年中に発生した交通事故全体の死者数は2,663人であり、そのうち、事業用自動車の交通事故死者数は286人（前年比15人増）であった。
- 令和元年と比較して令和6年の交通事故死者数は、乗合バスにおいて増加、タクシーにおいては同数となっている。

交通事故全体と事業用自動車の交通事故死者数の推移



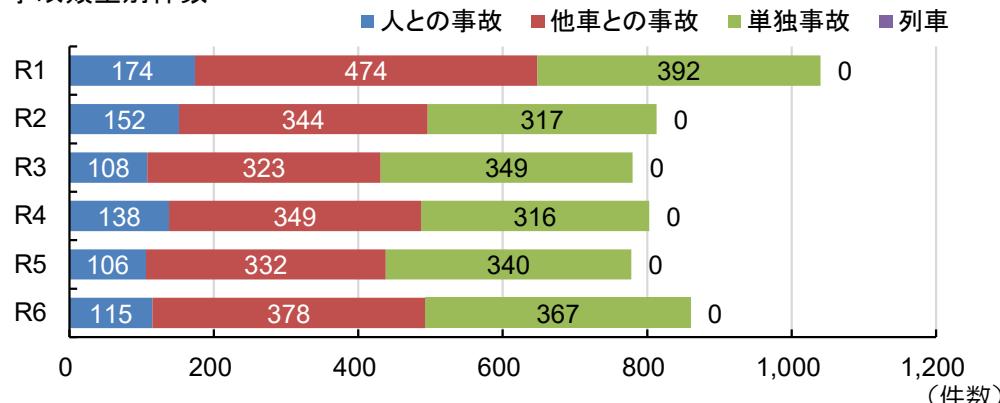
各モードの交通事故死者数の推移



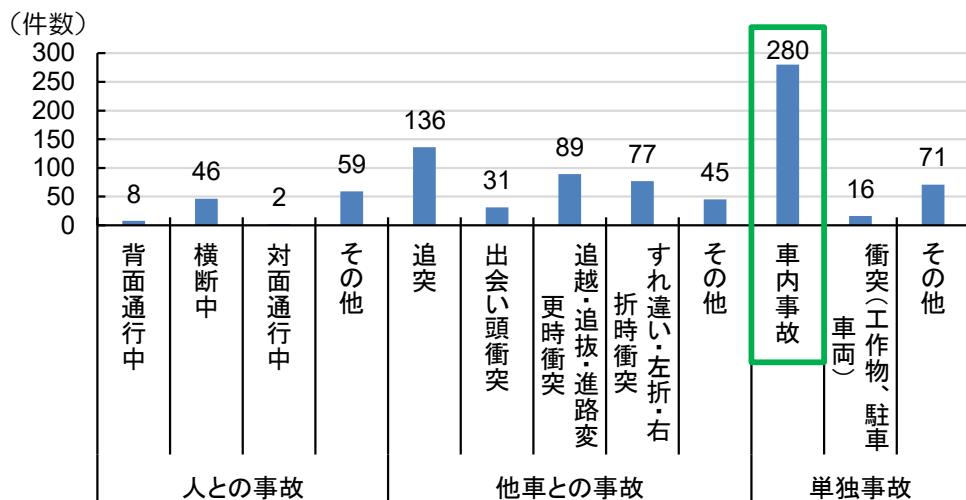
- 乗合バスの事故類型としては、「車内事故」が全体の約3割にあたる280件発生しており、最多。ただし、車内事故による死亡事故は発生していない。
- 乗合バスの死亡事故類型としては、「横断中」などの人の事故が多い。

乗合バスの事故類型

○事故類型別件数

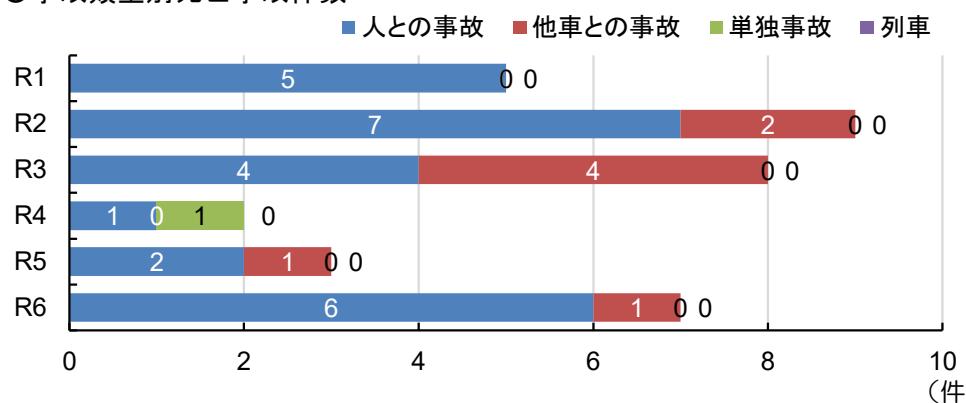


○令和6年事故類型別事故件数の内訳

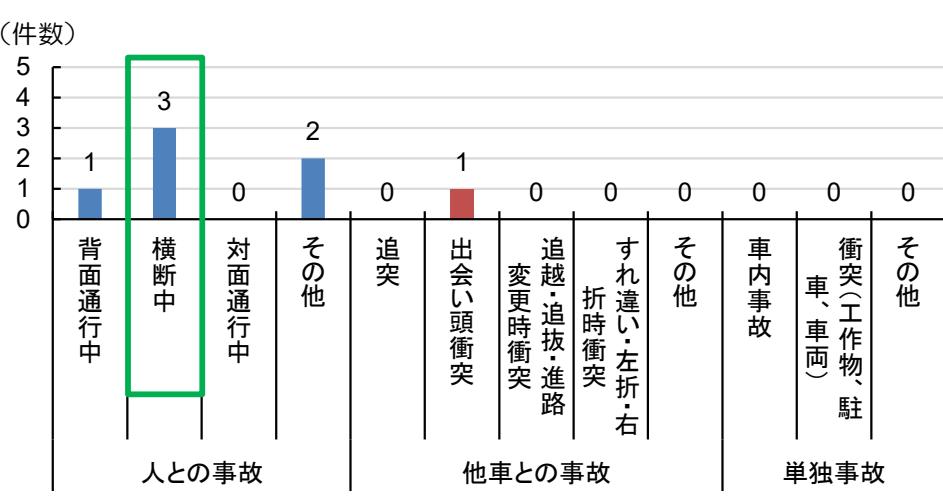


乗合バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



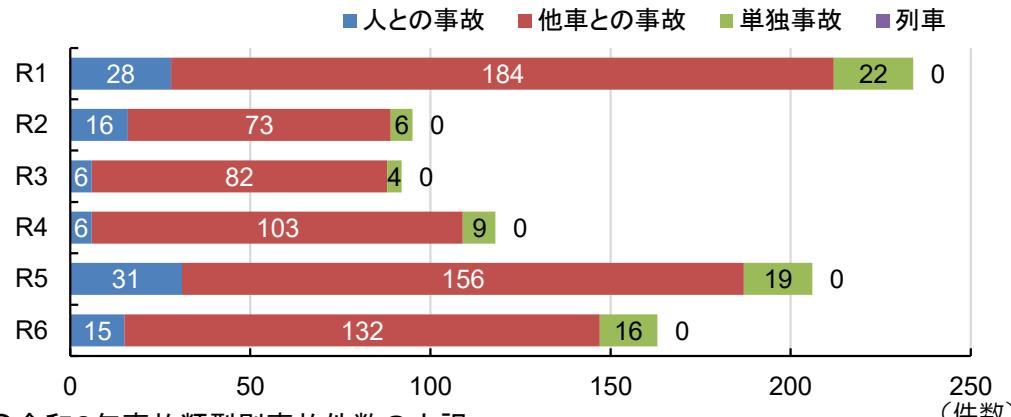
○令和6年事故類型別死亡事故件数の内訳



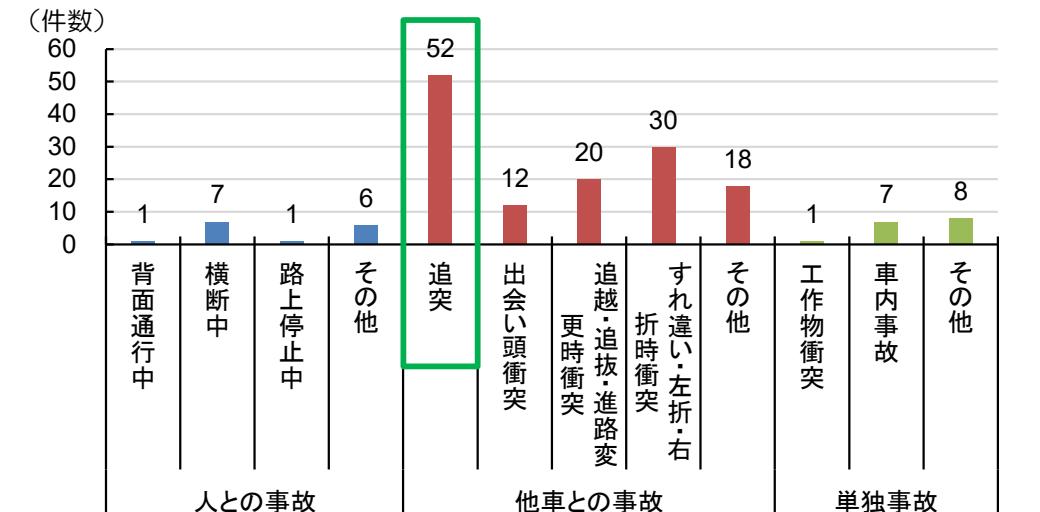
- 貸切バスの事故類型としては、「追突」が全体の約3割にあたる52件発生しており、最多。ただし、追突による死亡事故は発生していない。
- 貸切バスの死亡事故類型としては、人との事故が多い。

貸切バスの事故類型

○事故類型別件数

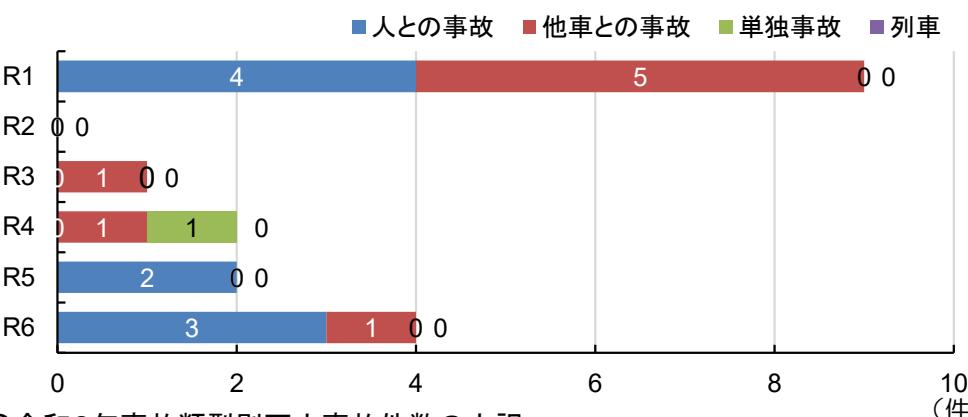


○令和6年事故類型別事故件数の内訳

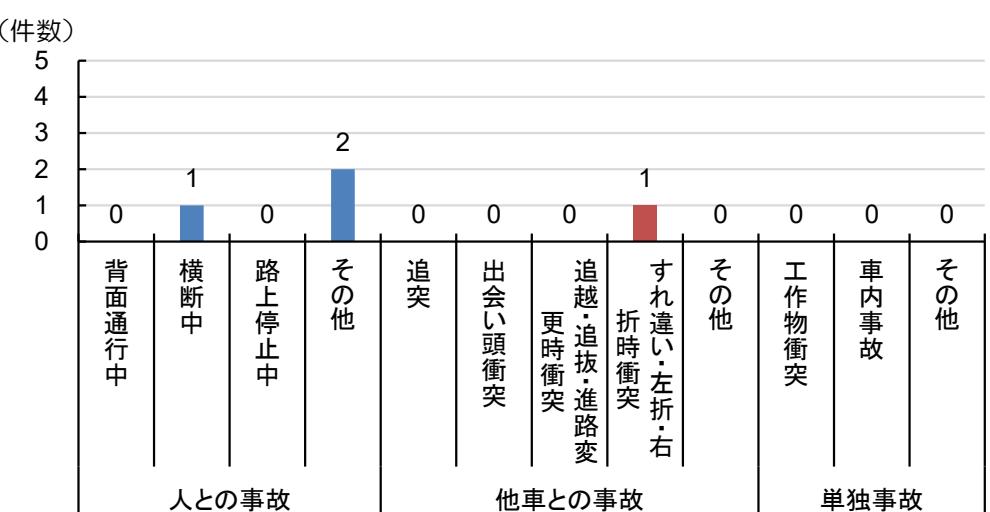


貸切バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○令和6年事故類型別死亡事故件数の内訳

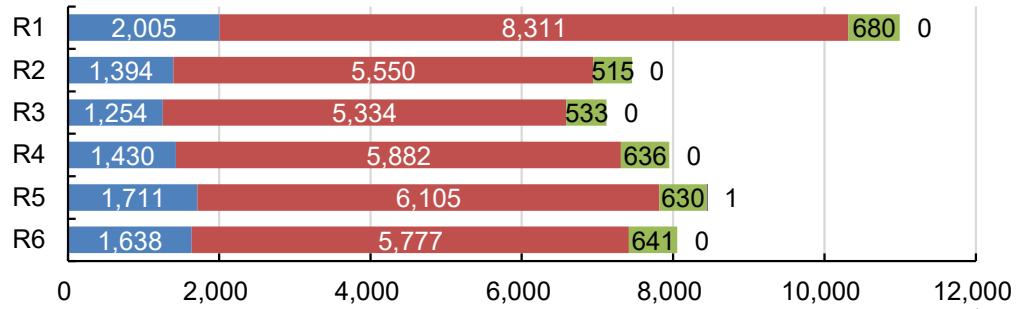


- タクシーの事故類型としては、「追突」、「出会い頭衝突」の順に多い。ただし、両方の事故ともに死亡事故は発生していない。
- タクシーの死亡事故類型としては、人との事故、特に路上横臥中 が最も多い。

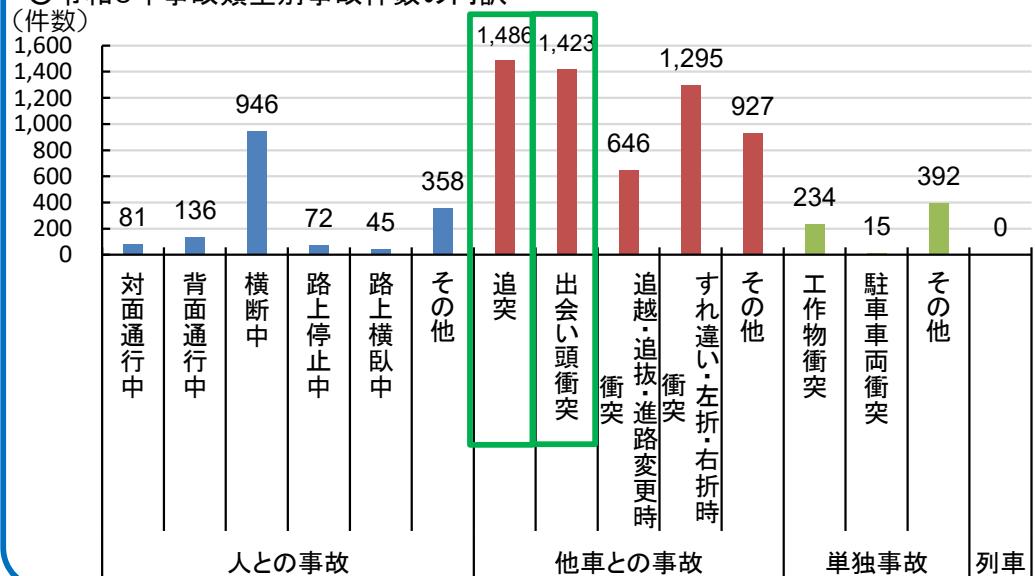
タクシーの事故類型

○事故類型別件数

■人との事故 ■他車との事故 ■単独事故 ■列車



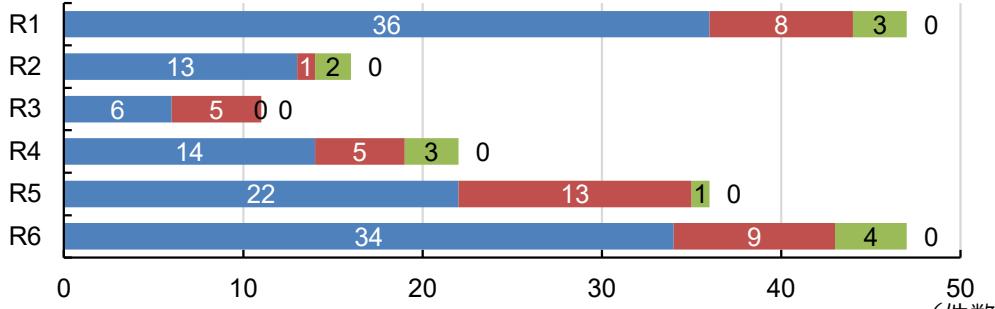
○令和6年事故類型別事故件数の内訳



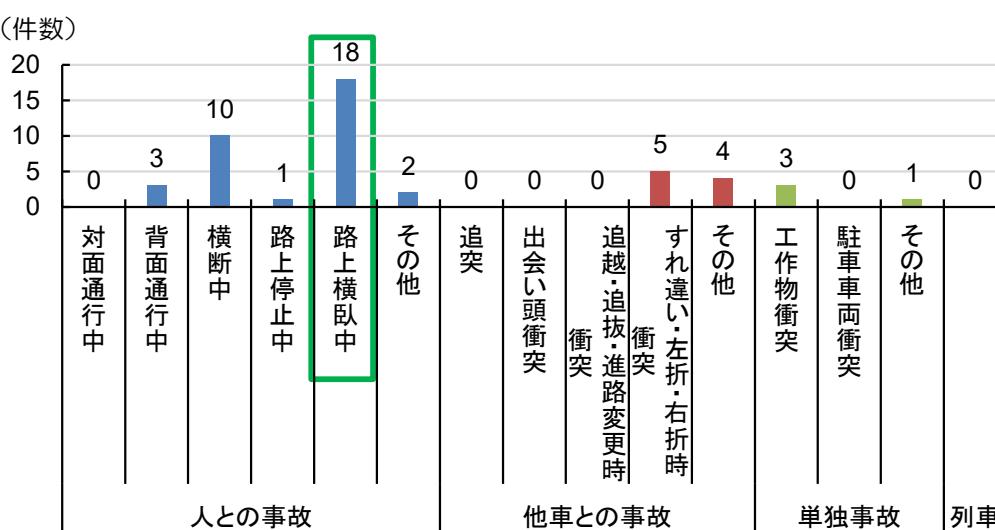
タクシーの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数

■人との事故 ■他車との事故 ■単独事故 ■列車



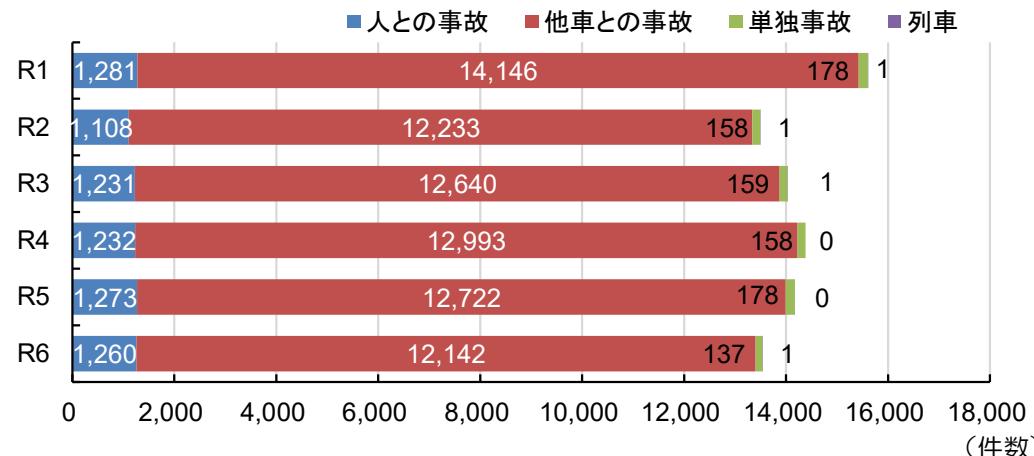
○令和6年事故類型別死亡事故件数の内訳



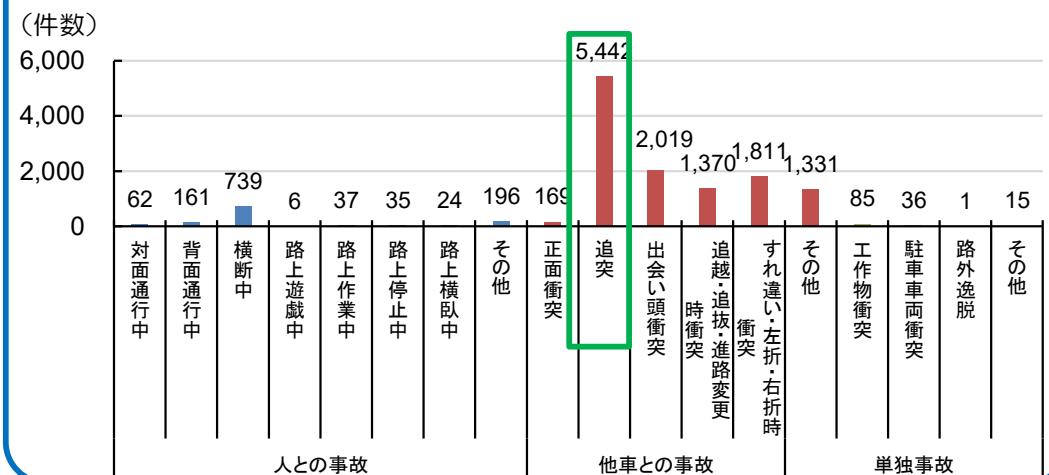
- トラックの事故類型としては、「追突」が全体の約4割にあたる5,442件発生しており、最多。追突による死亡事故も38件発生している。
- トラックの死亡事故類型としては、「横断中」の事故が最も多い。

トラックの事故類型

○ 事故類型別件数

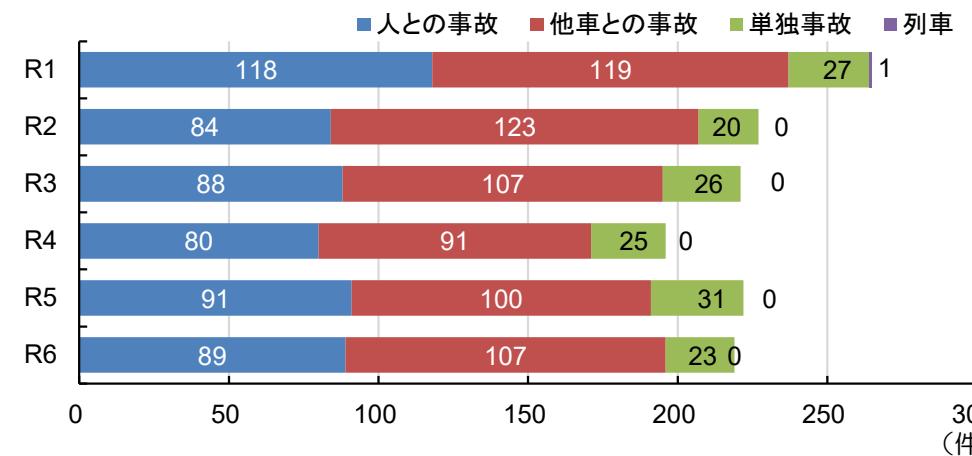


○ 令和6年事故類型別事故件数の内訳

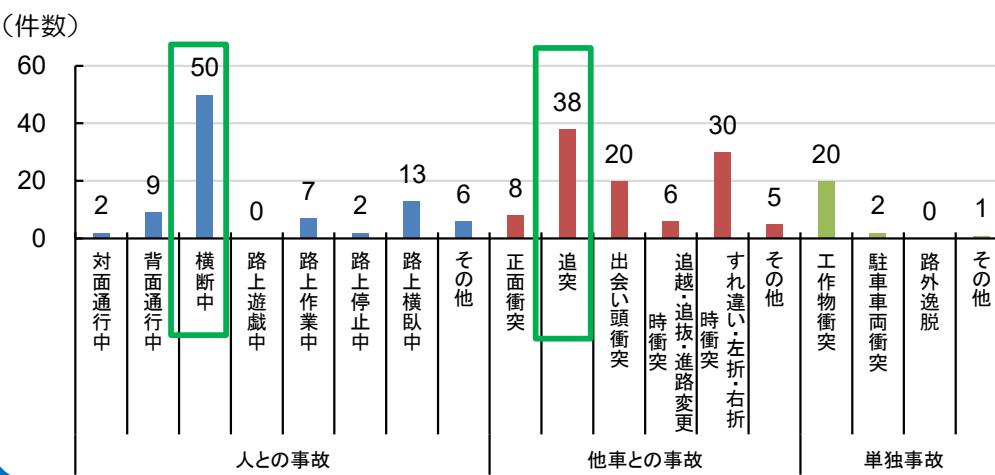


トラックの死亡事故類型

○ 事故類型別死亡事故件数



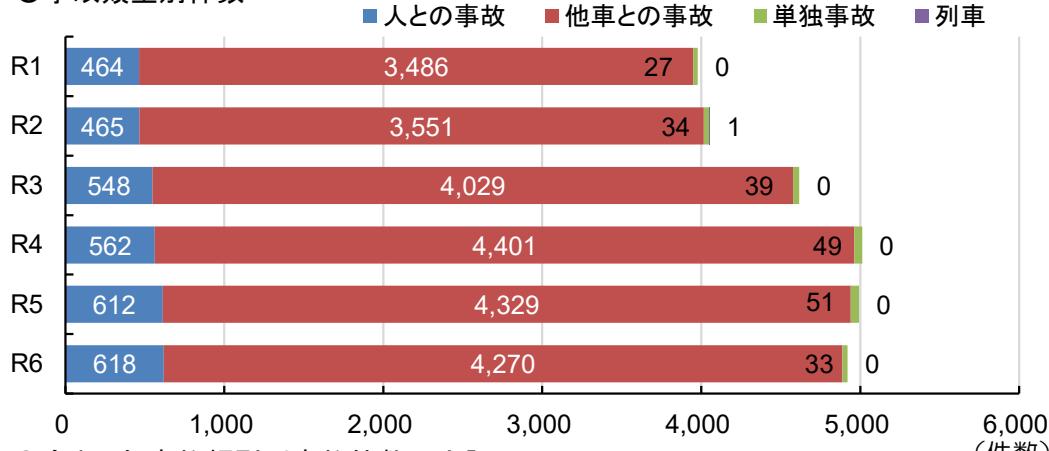
○ 令和6年事故類型別死亡事故件数の内訳



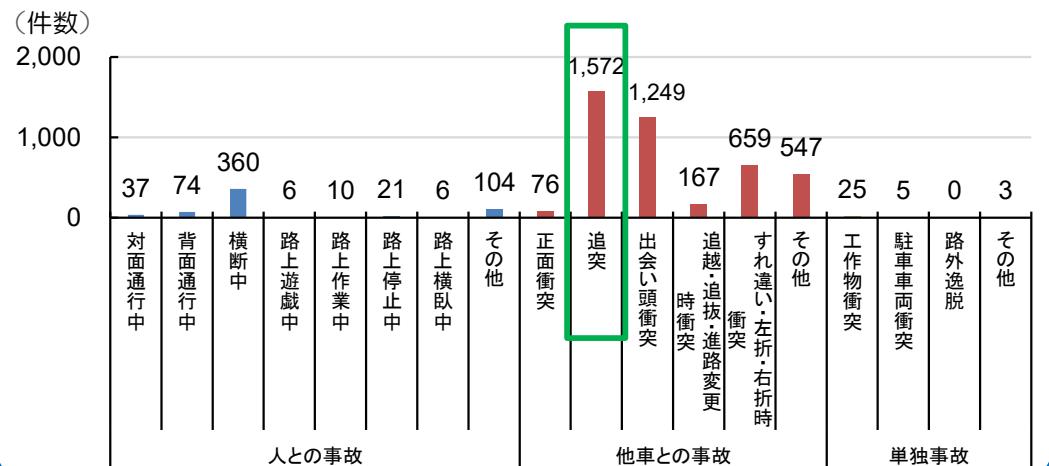
- 軽貨物の事故類型としては、「追突」が全体の約3割にあたる1,572件発生しており、最多。ただし、追突による死亡事故は発生していない。
- 軽貨物の死亡事故類型としては、「横断中」の人の事故が最も多い。

軽貨物の事故類型

○事故類型別件数

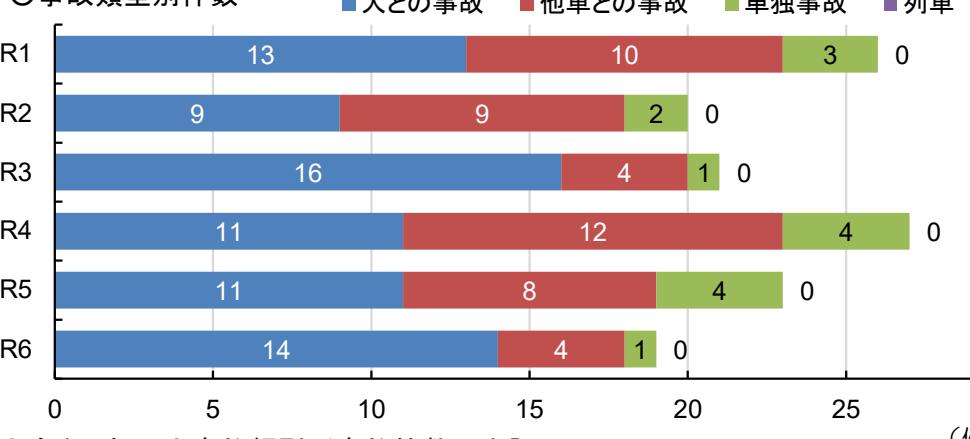


○令和6年事故類型別事故件数の内訳

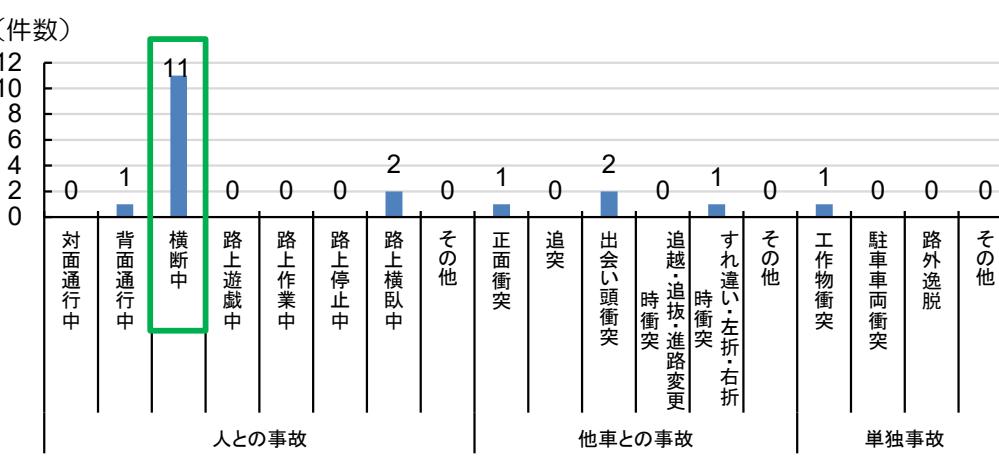


軽貨物の死亡事故類型

○事故類型別件数



○令和6年死亡事故類型別事故件数の内訳

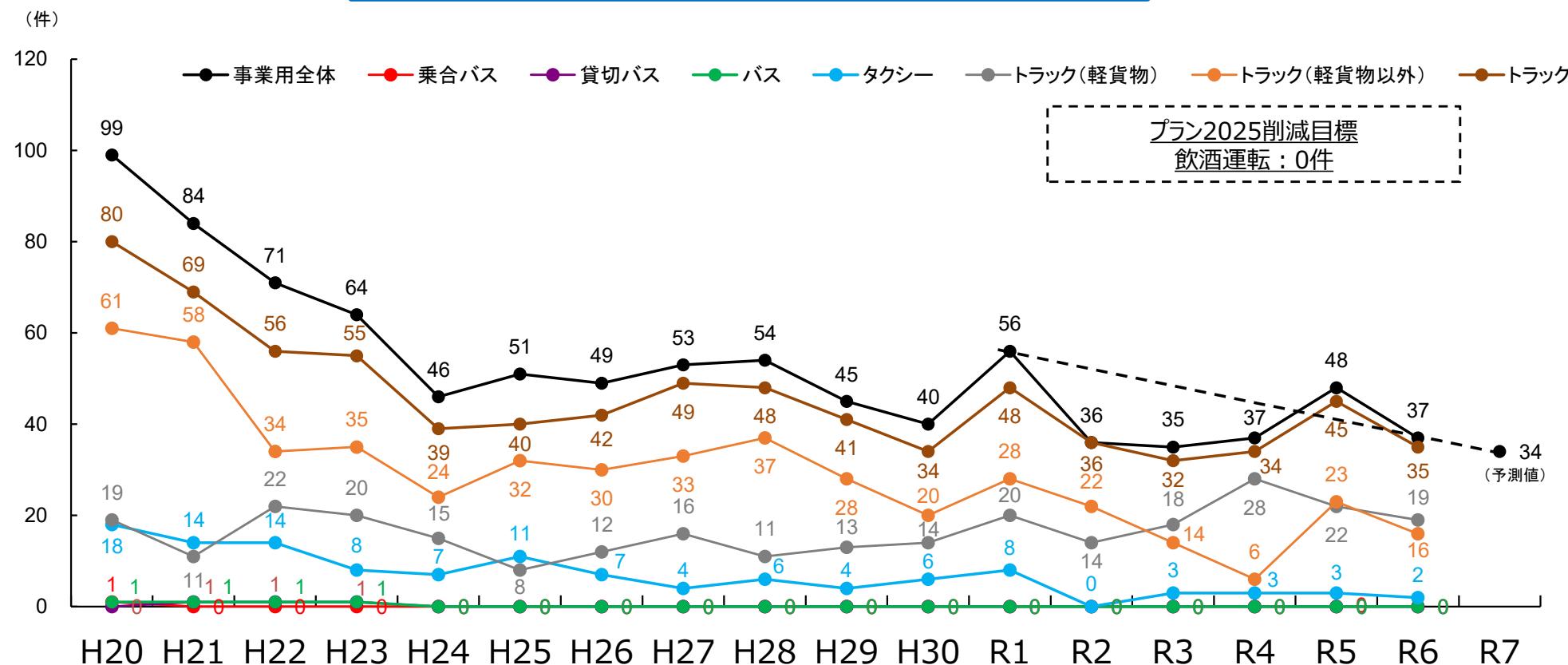


出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

事業用自動車による飲酒運転事故件数の推移

- 事業用自動車による令和6年の飲酒運転事故件数は37件で、その内35件がトラックにおける事故。
- 令和元年と比較して令和6年の飲酒運転事故件数は、全モードにおいて減少している。

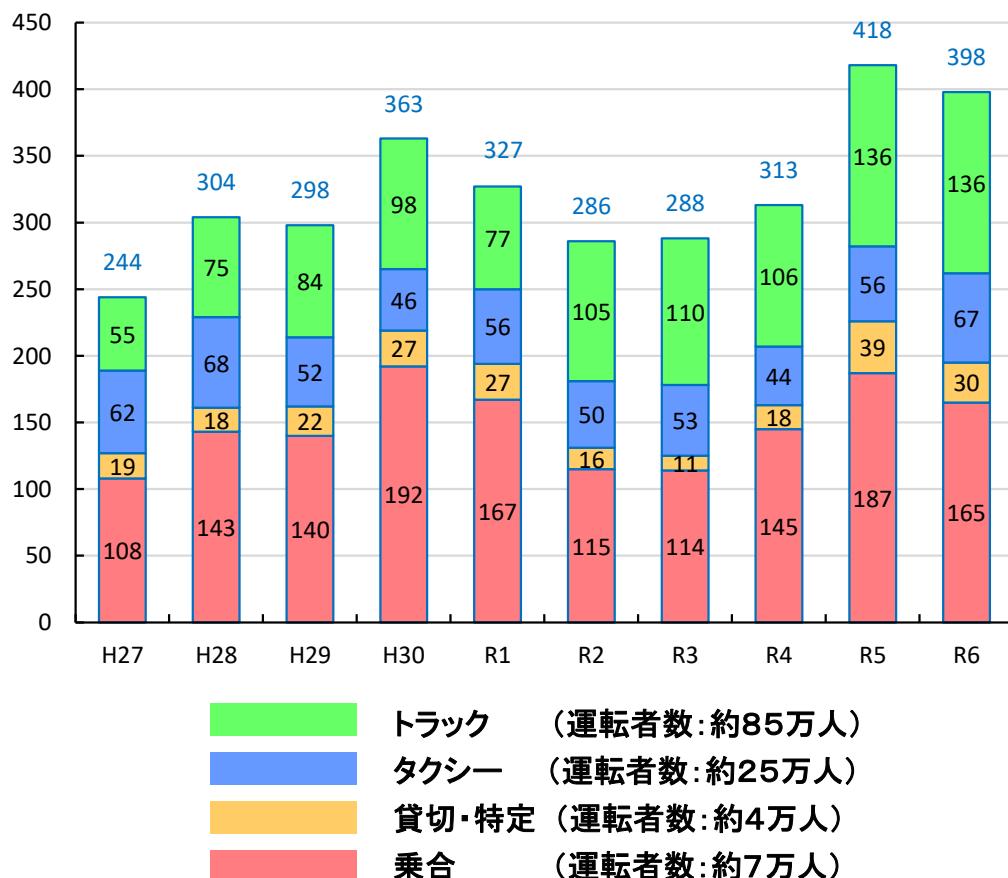
飲酒運転による事業用自動車の交通事故



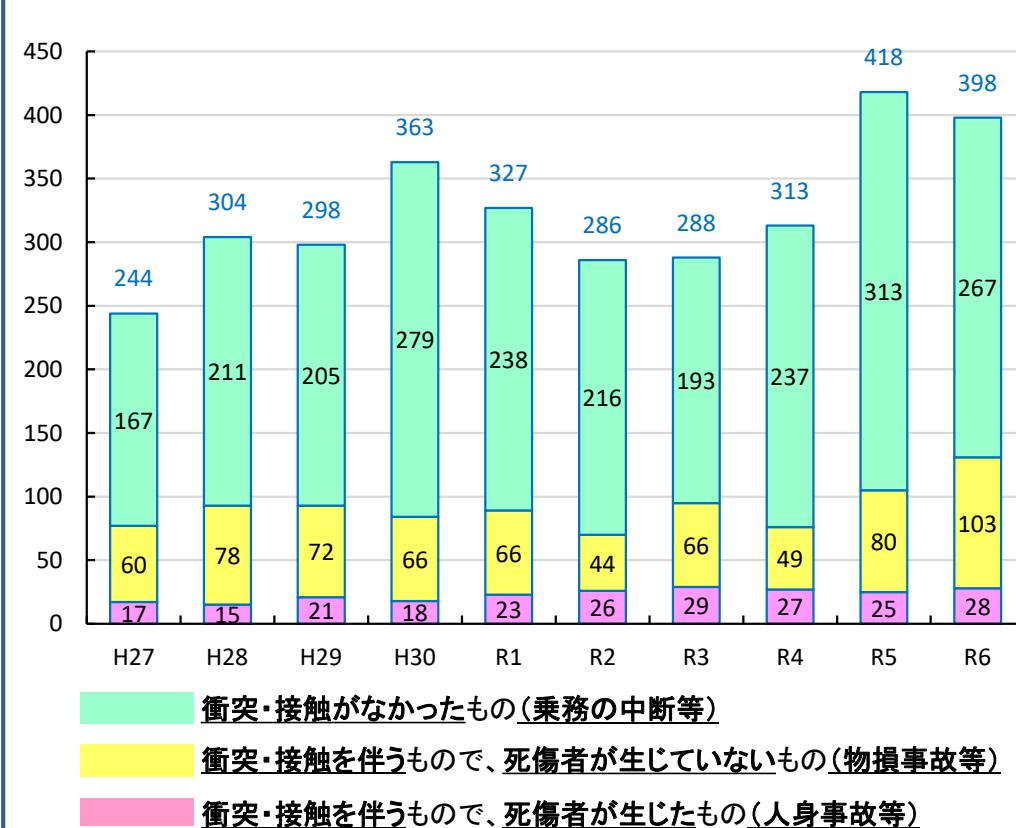
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

- 運転者の疾病により事業用自動車の運転を継続できなくなった事案として、自動車事故報告規則に基づき報告のあった件数は昨年より減少
- 令和6年は健康起因事故報告件数のうち約33%が交通事故に至っているが、人身事故件数は横ばいの状況

健康状態に起因する事故報告件数
(業態毎の件数)

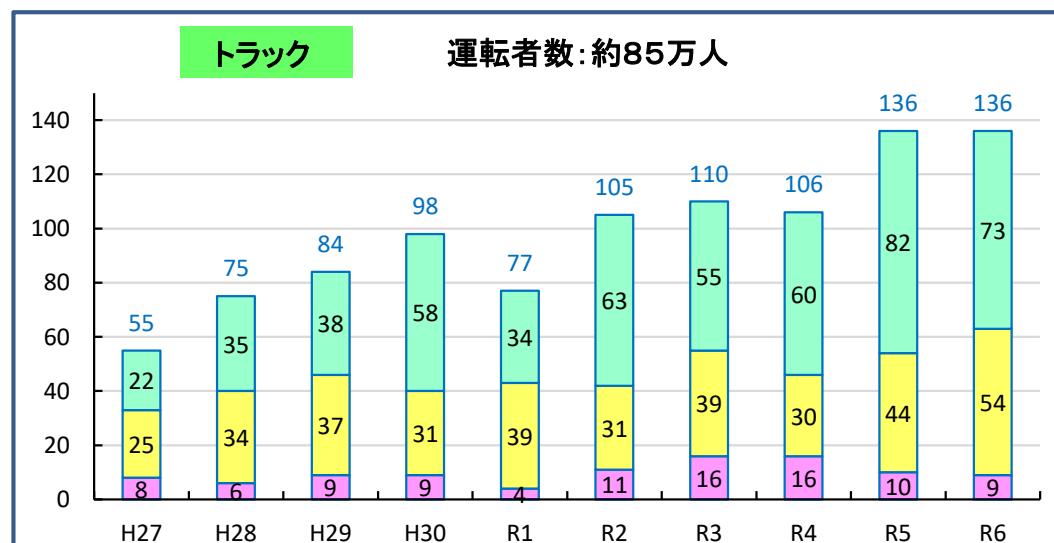
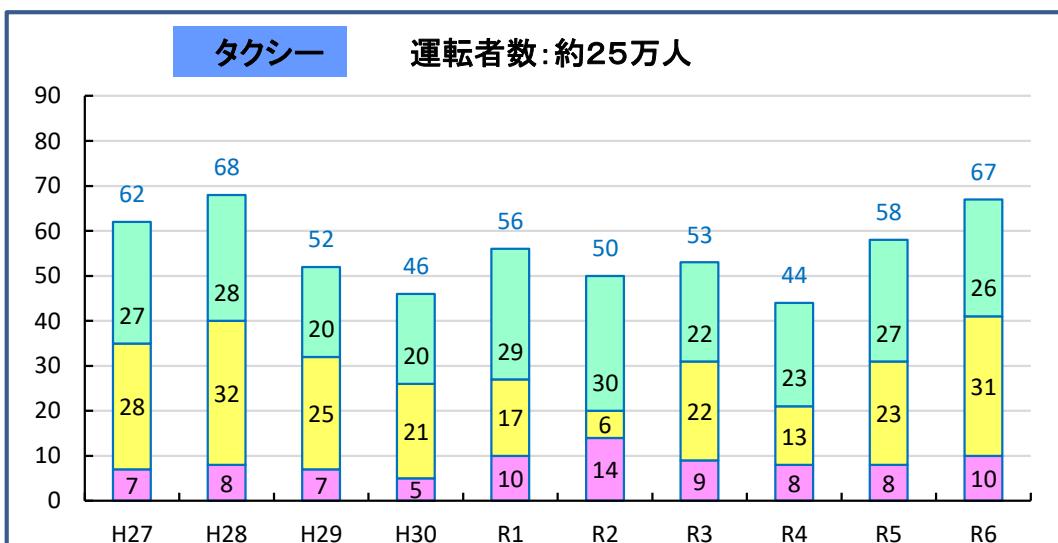
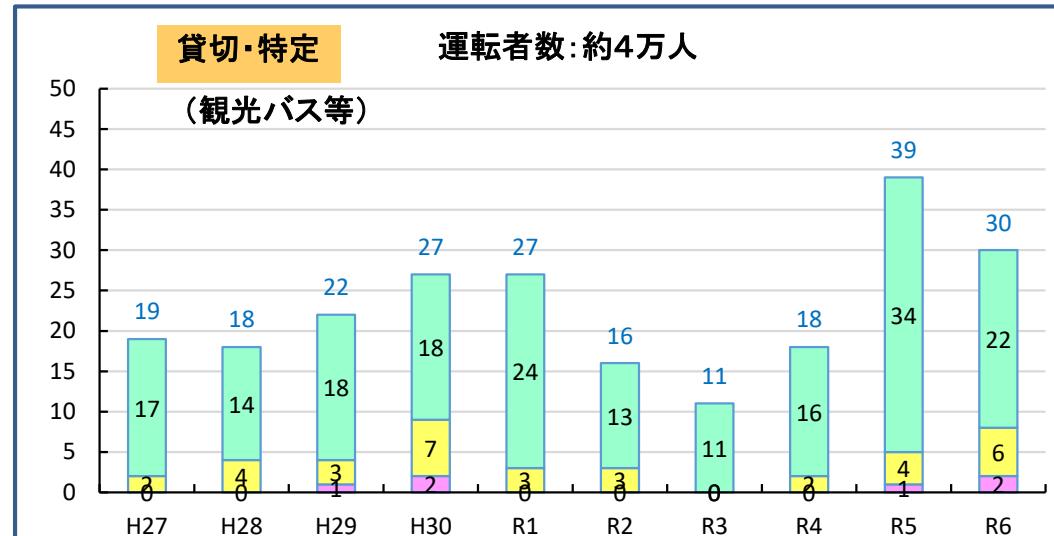
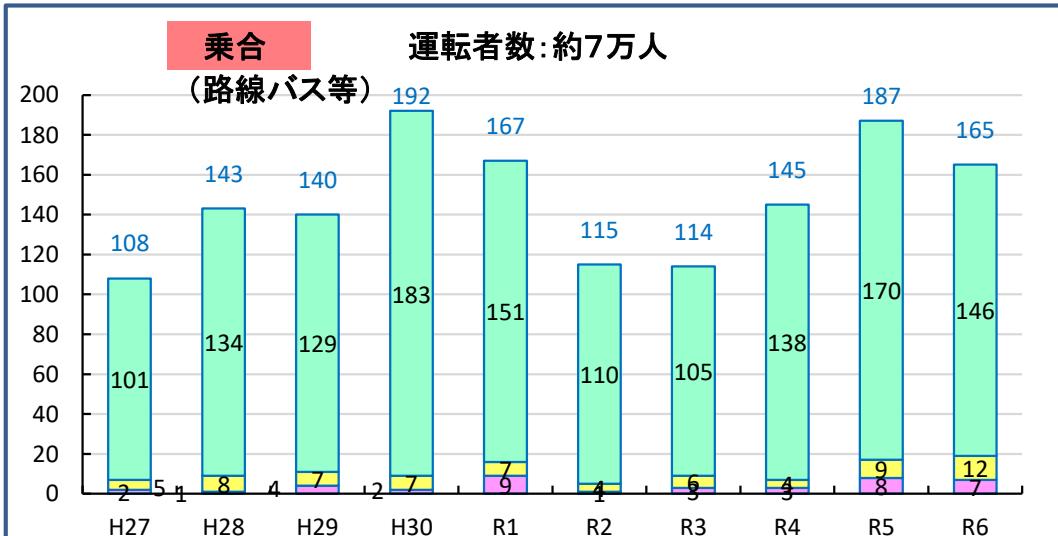


健康状態に起因する事故報告件数
(報告内容毎の件数)



業態別の健康状態に起因する事故報告件数の推移

- 各モードにおいても健康起因事故の報告件数は令和5年比で乗合と貸切等は減少、ハイ・タクは増加、トラックは同数であった。
- バスの多くは事故に至らずに乗務の中止を実施している一方、タクシー、トラックでは約半数が事故に至っている。
- タクシーとトラックは、交通事故に至った事案が令和5年比で増加している。



衝突・接触がなかったもの(乗務の中止等)

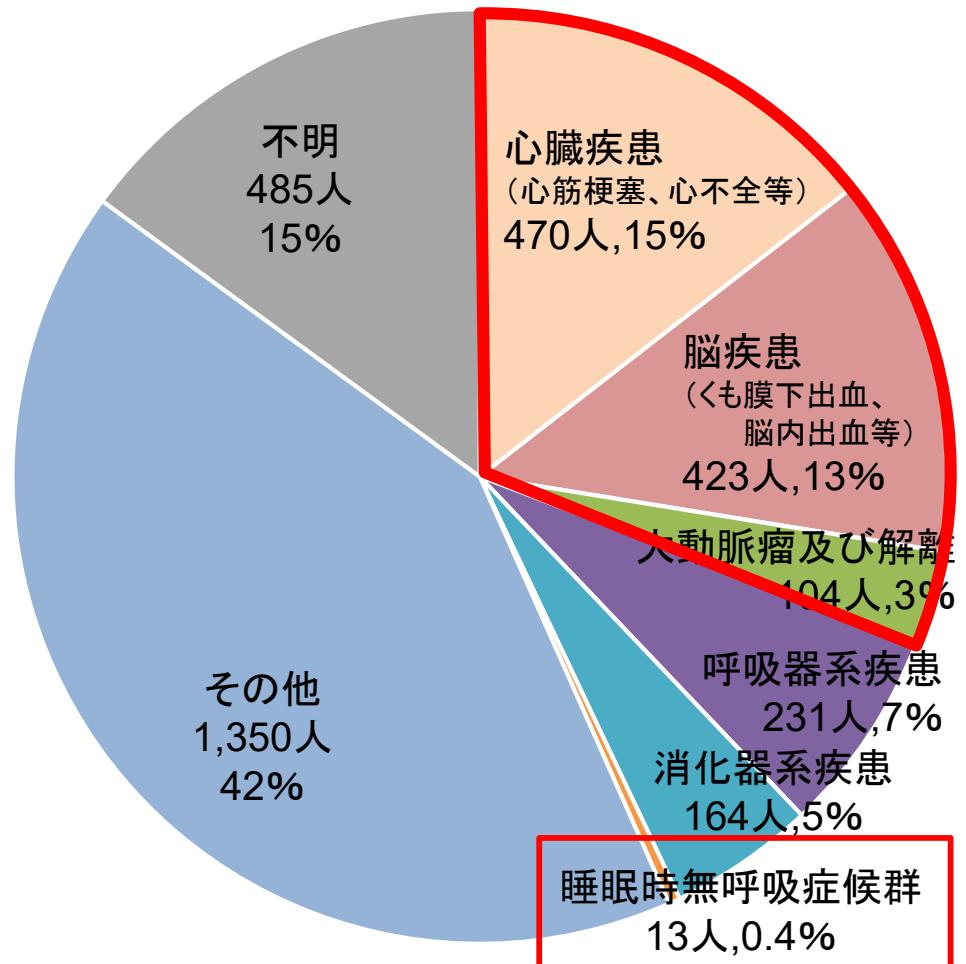
衝突・接触を伴うもので、死傷者が生じていないもの(物損事故等)

衝突・接触を伴うもので、死傷者が生じたもの(人身事故等)

- 過去10年間で健康起因事故を起こした運転者3,240のうち心臓疾患、脳疾患、大動脈瘤及び解離が31%を占める。
- うち、死亡した運転者523人の疾病別内訳は、心臓疾患が55%、脳疾患が11%、大動脈瘤及び解離が14%を占める。

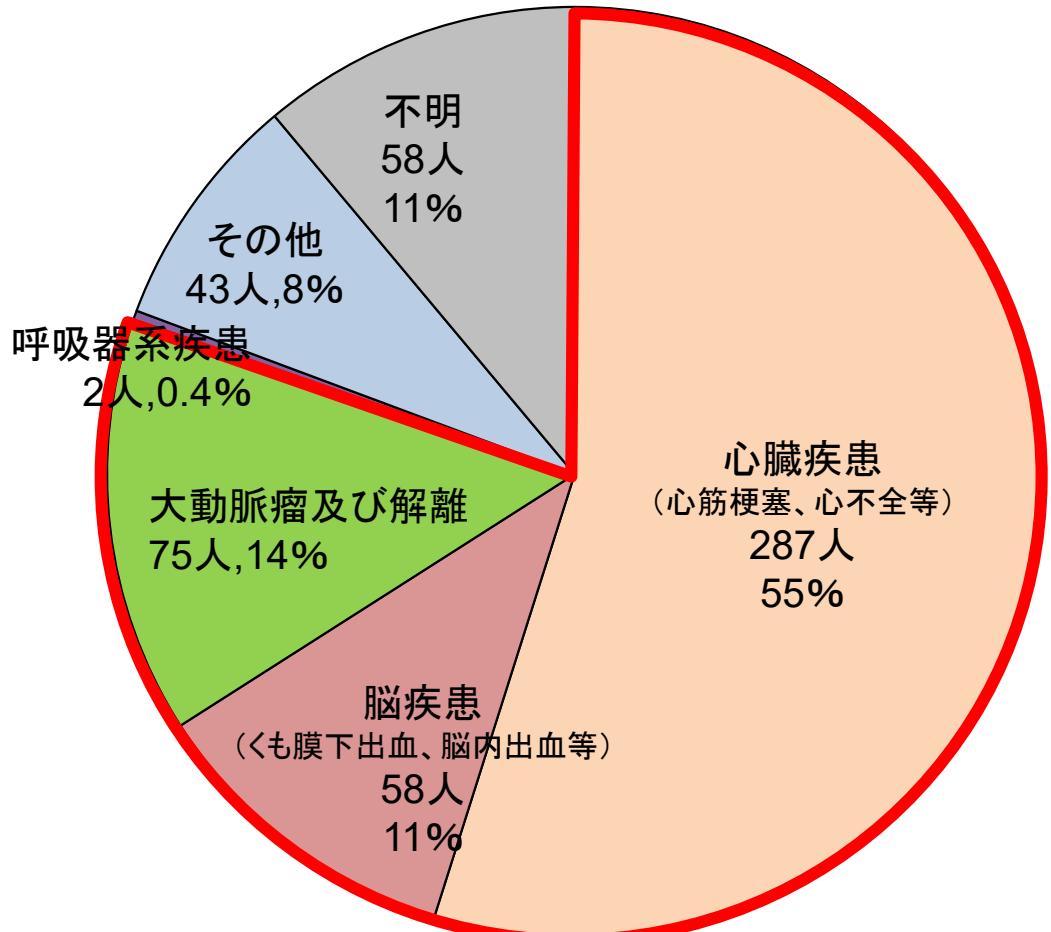
健康起因事故を起こした運転者の疾病別内訳 (平成27年～令和6年)

計3,240人



健康起因により死亡した運転者の疾病別内訳 (平成27年～令和6年)

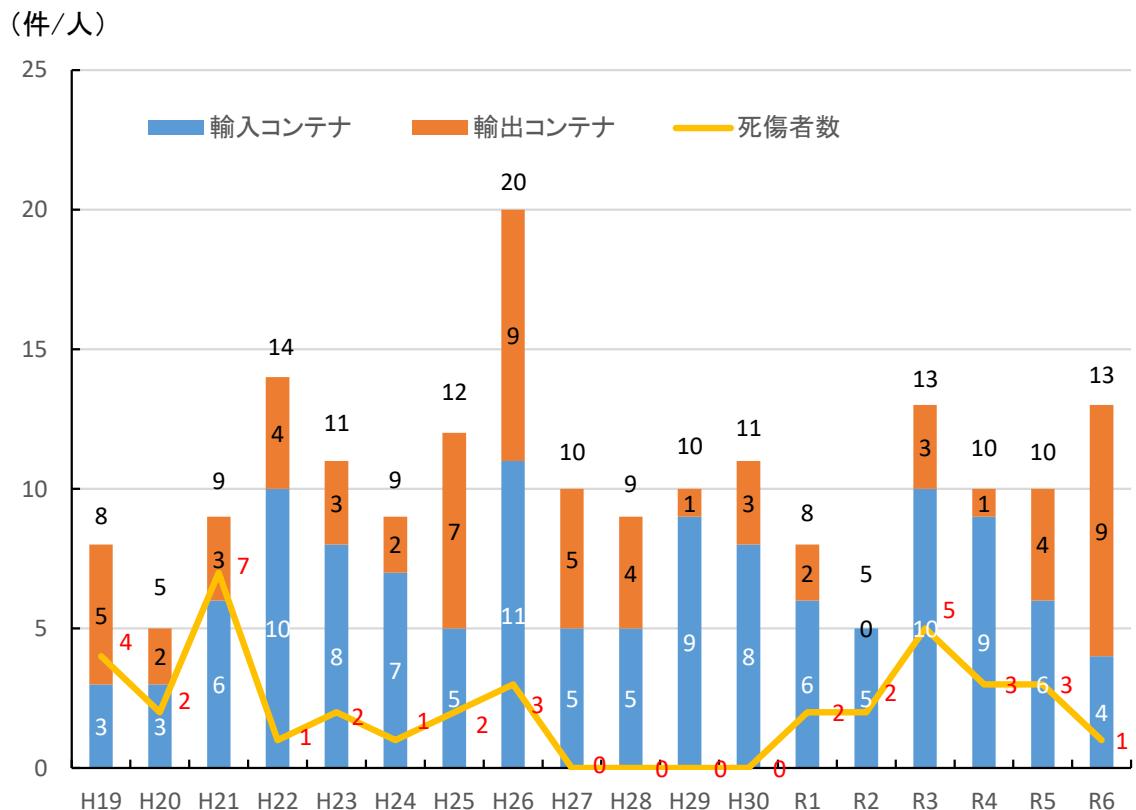
計523人



- 国際海上コンテナの横転事故等の発生件数は近年横ばい傾向。令和5年の事故件数は10件であり、うち6件は輸入コンテナにより発生している。
- 国際海上コンテナの横転事故等による死傷者数は令和元年以降増加。令和5年は死者が2名発生しており引き続き事故防止に向けた取組が必要。

海コン横転等事故発生状況

横転事故等発生件数 (自動車事故報告規則に基づき報告があったもの)



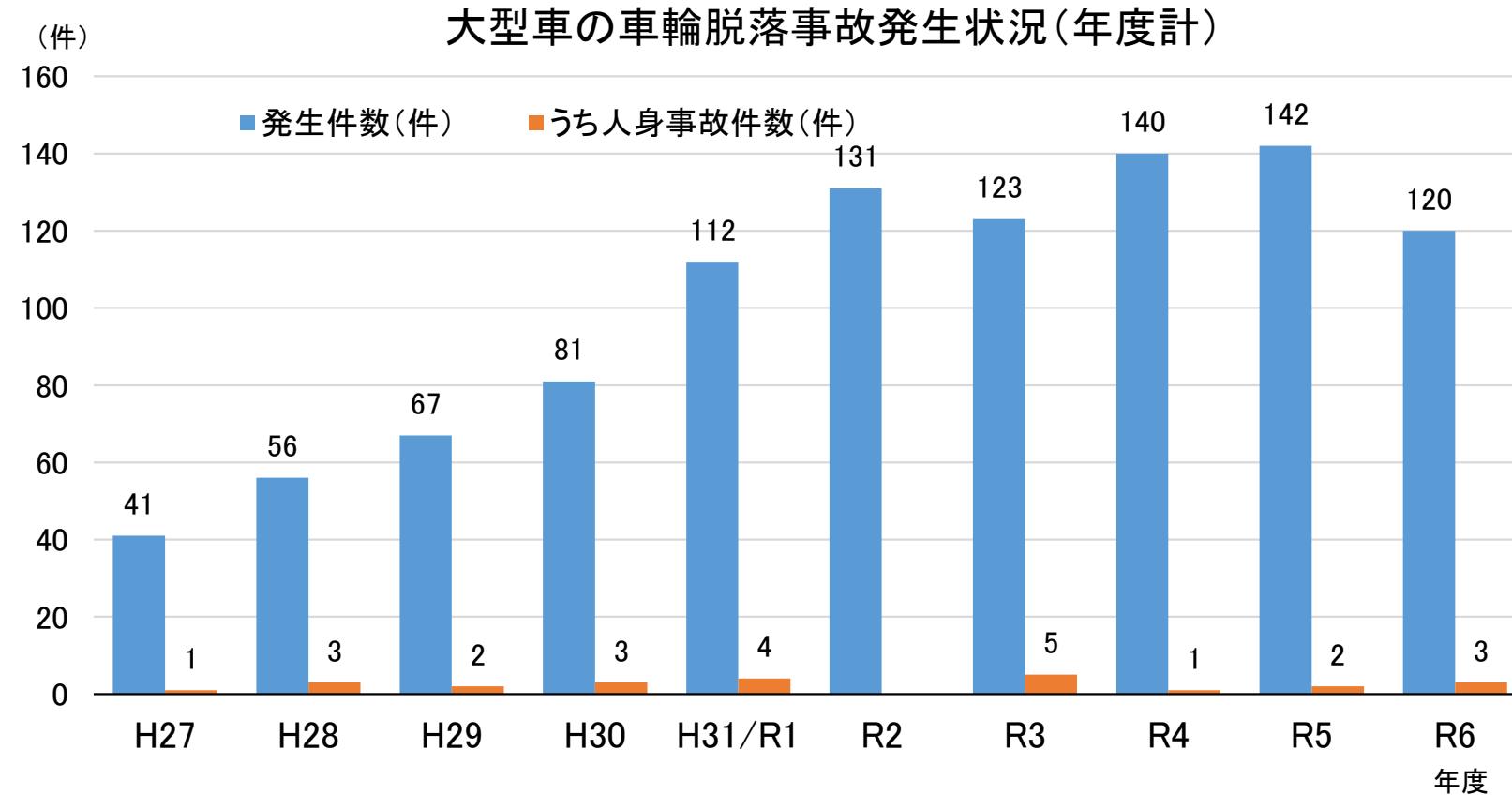
横転事故等による死傷者数

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
死者数	2人	2人	4人	1人	1人	1人	1人	3人	0人	0人
重傷者数	2人	0人	3人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
死者数	0人	0人	0人	0人	2人	0人	2人	0人
重傷者数	0人	0人	2人	2人	3人	3人	1人	1人

年度別の大型車の車輪脱落事故の発生件数

- 大型車の車輪脱落事故の発生件数は増加傾向であったが、令和6年度は120件発生、令和5年度(142件)より22件減少した。
- 車輪脱落事故に伴う人身事故は3件、内3名が重軽傷を負った。

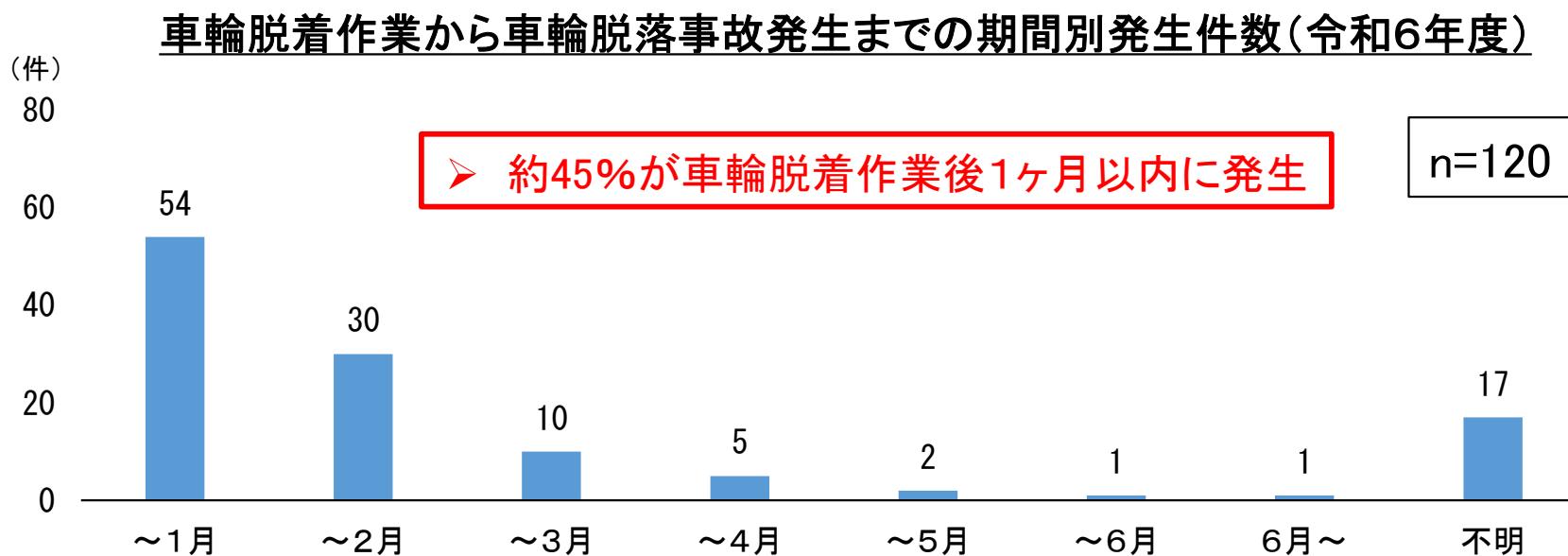


※ 1 車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損又はホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故

※ 2 大型車の内、乗車定員30人以上の自動車の件数(H27年度:3件、H28年度:1件、H29年度:1件、H30年度:3件、H31/R1年度:1件、R2年度:0件、R3年度:2件、R4年度:2件、R5年度:1件、R6年度:2件)

出典:自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

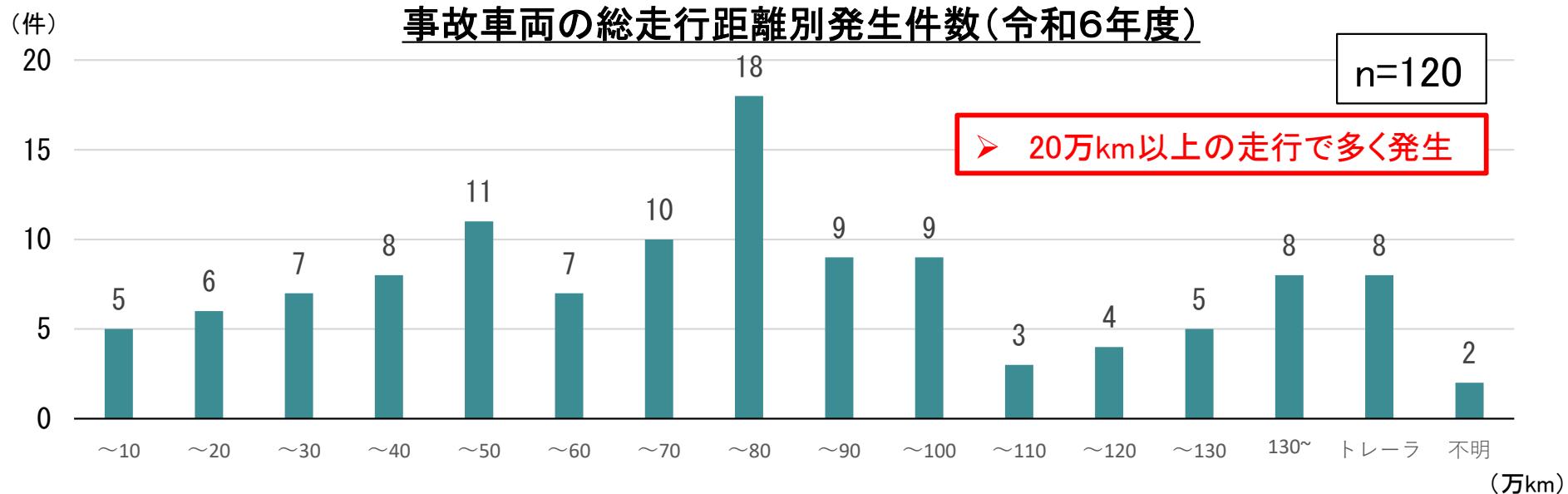
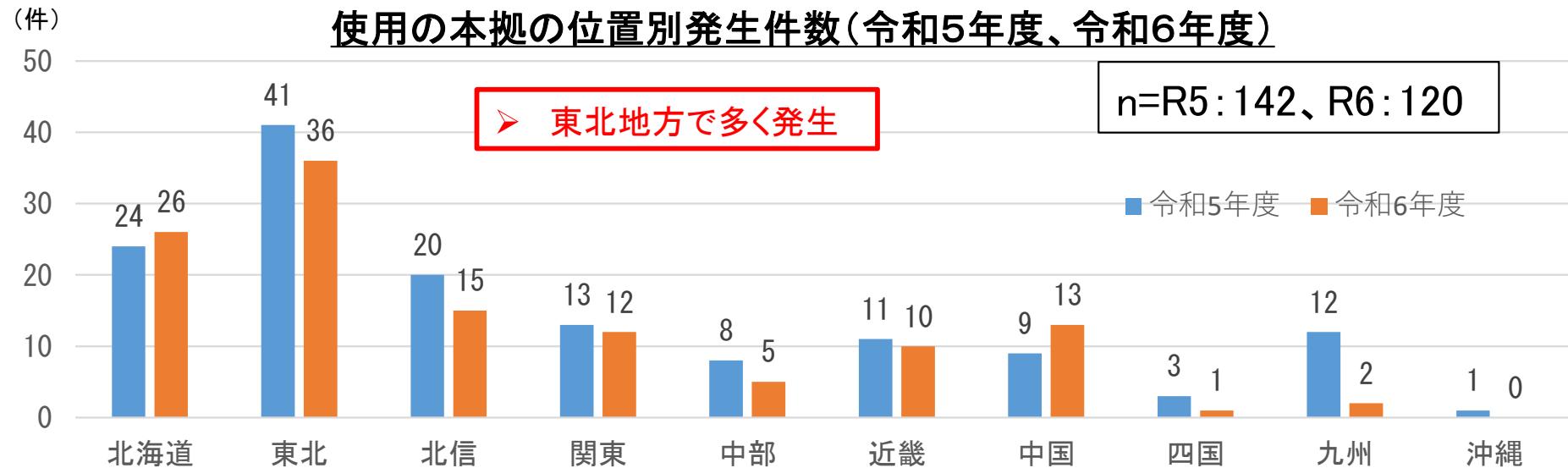
令和6年度 大型車の車輪脱落事故発生状況②



※ 車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損又はホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故

出典:自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

令和6年度 大型車の車輪脱落事故発生状況③



※ 車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損又はホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

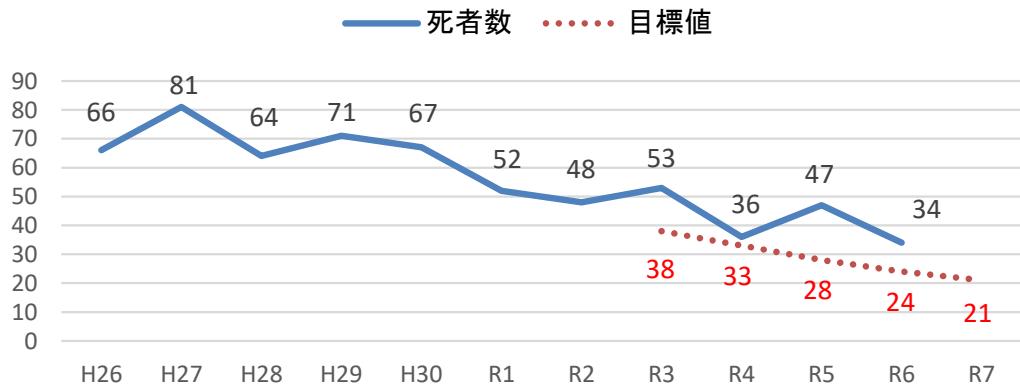
事業用自動車事故削減目標(近畿)

目標値(プラン2025)

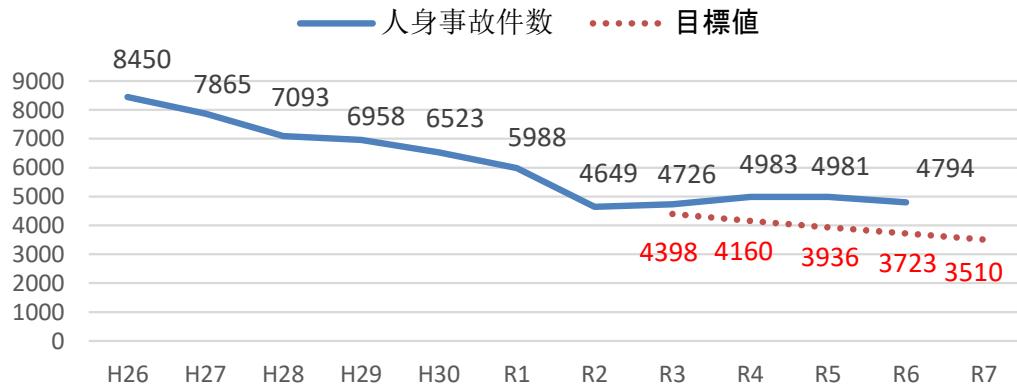
☆死者数 21人以下
☆重軽傷数 275人以下

☆人身事故件数 3,510件以下
☆飲酒運転 ゼロ

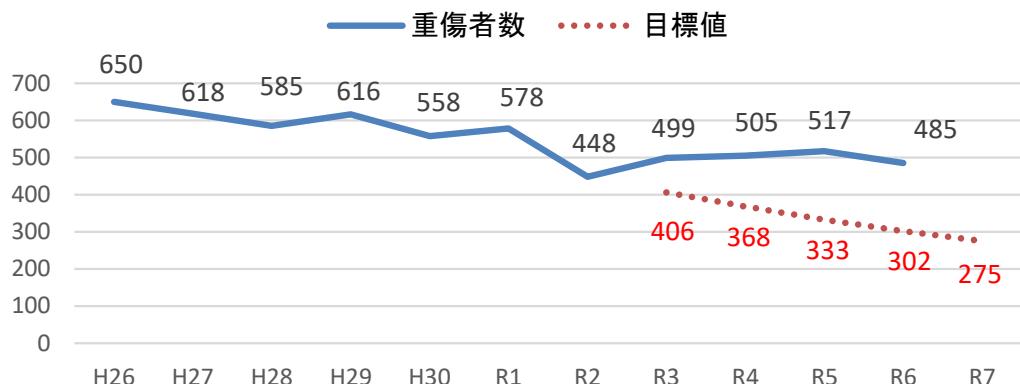
死者数



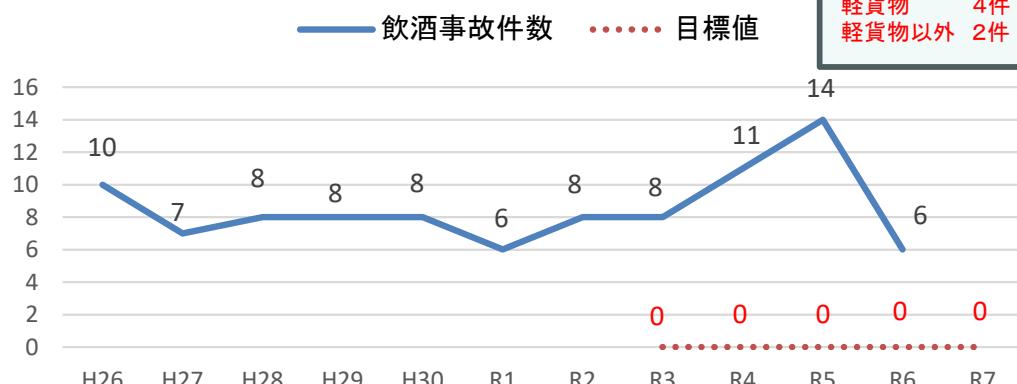
人身事故件数



重傷者数



飲酒事故件数

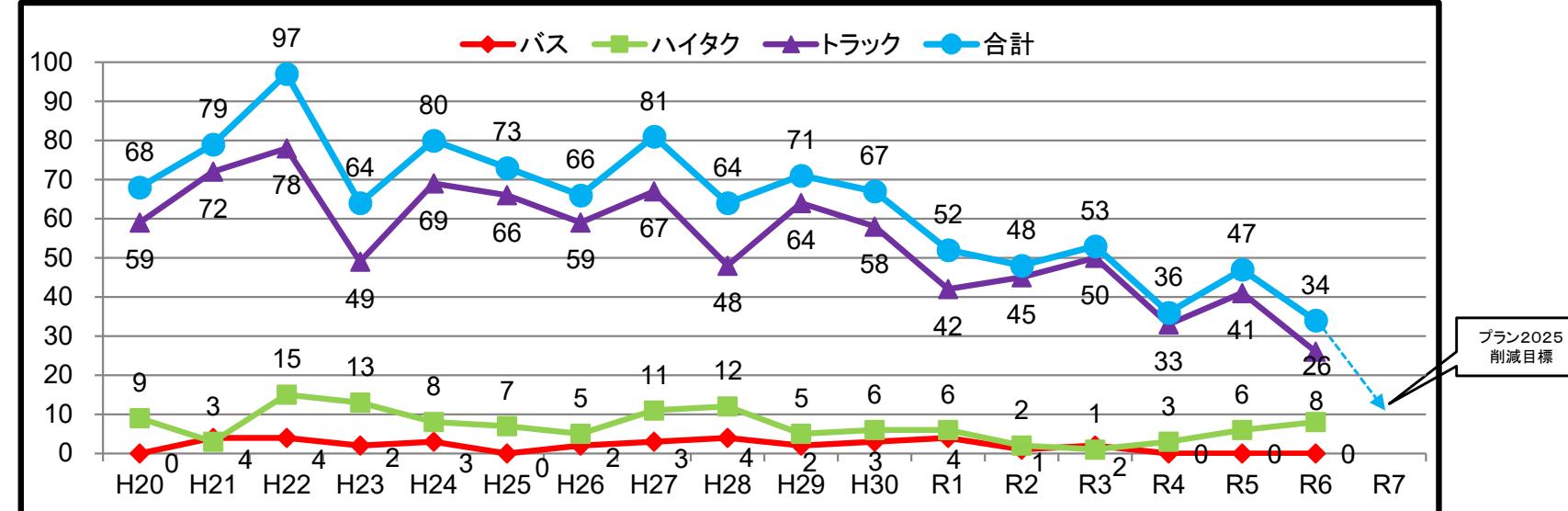


内訳
軽貨物 4件
軽貨物以外 2件

事業用自動車の死者数及び重傷者数(近畿:モード別)

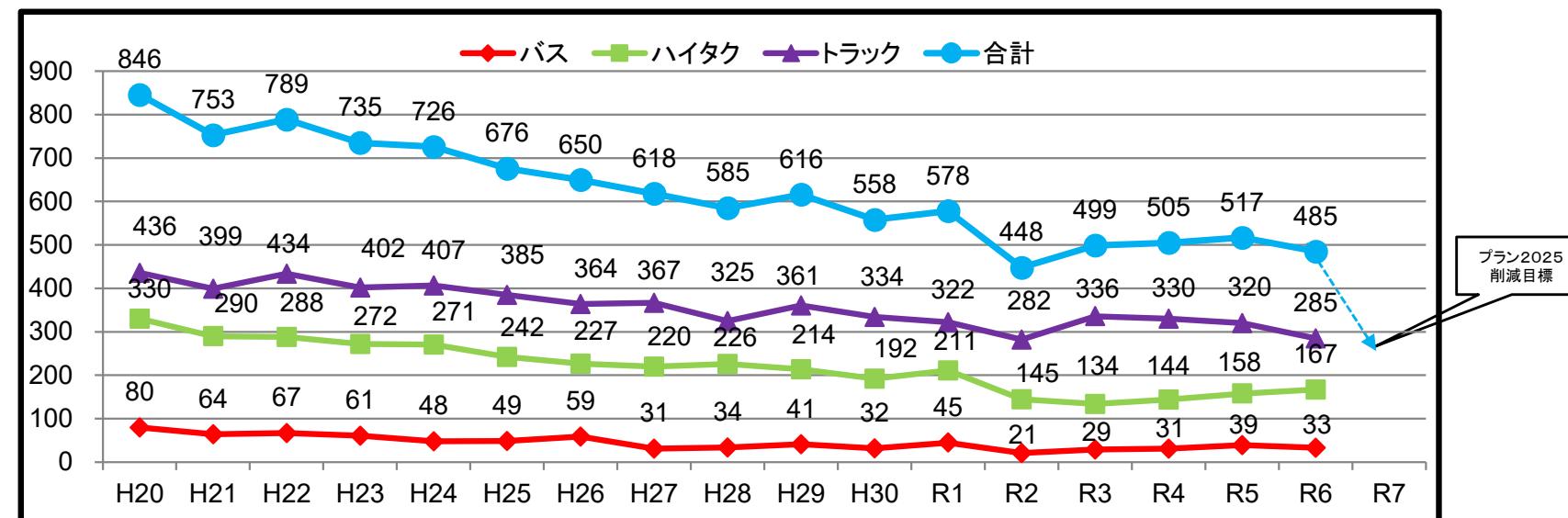
死者数

事故削減目標値
●死者数
バス:0人
ハイタク:2人以下
トラック:19人以下
合計:21人以下



重傷者数

事故削減目標値
●重症者数
バス:13人以下
ハイタク:90人以下
トラック:172人以下
合計:275人以下



事業用自動車の人身事故件数(近畿:モード別)

人身事故件数

事故削減目標値

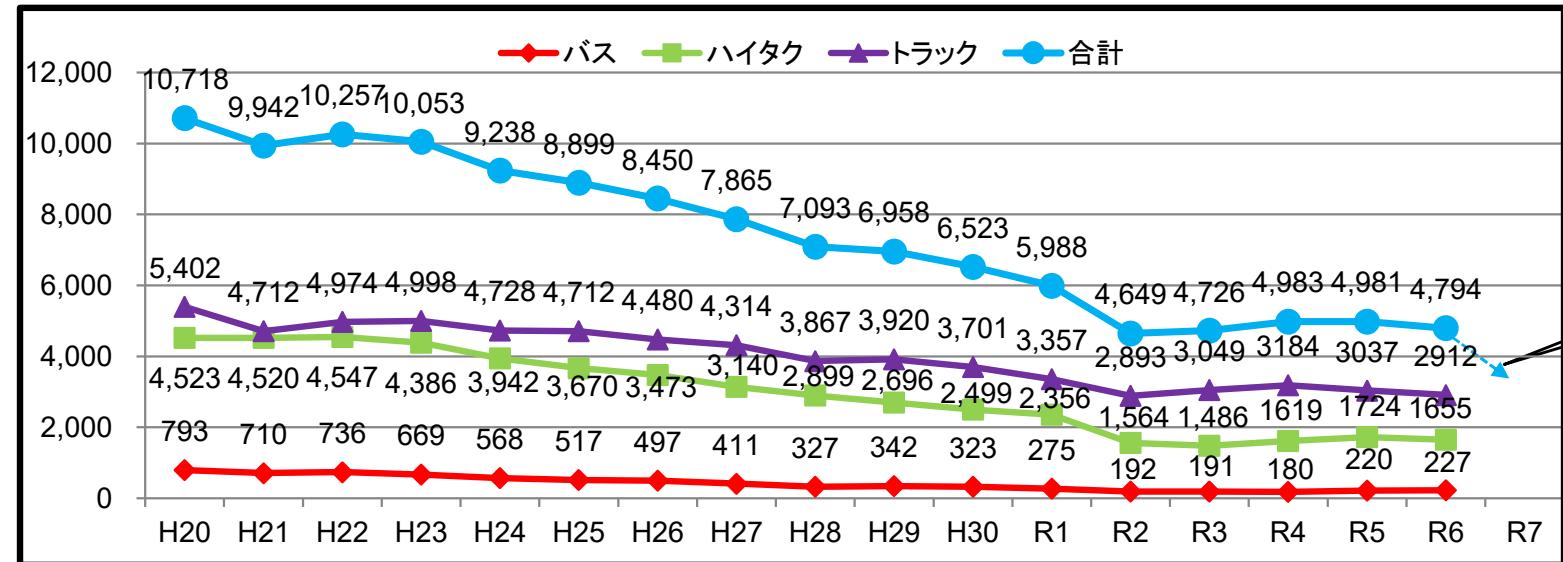
●人身事故件数

バス:145件以下

ハイタク:1,185件以下

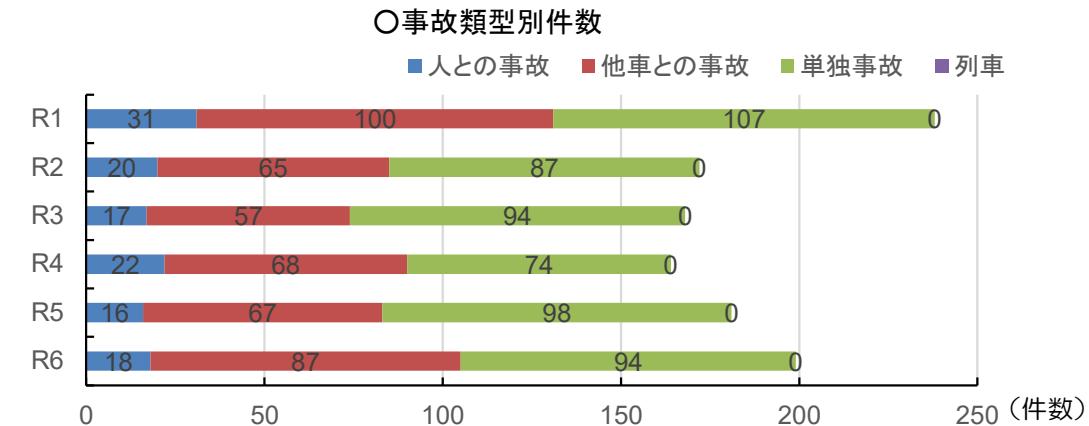
トラック:2,180件以下

合計:3,510件以下



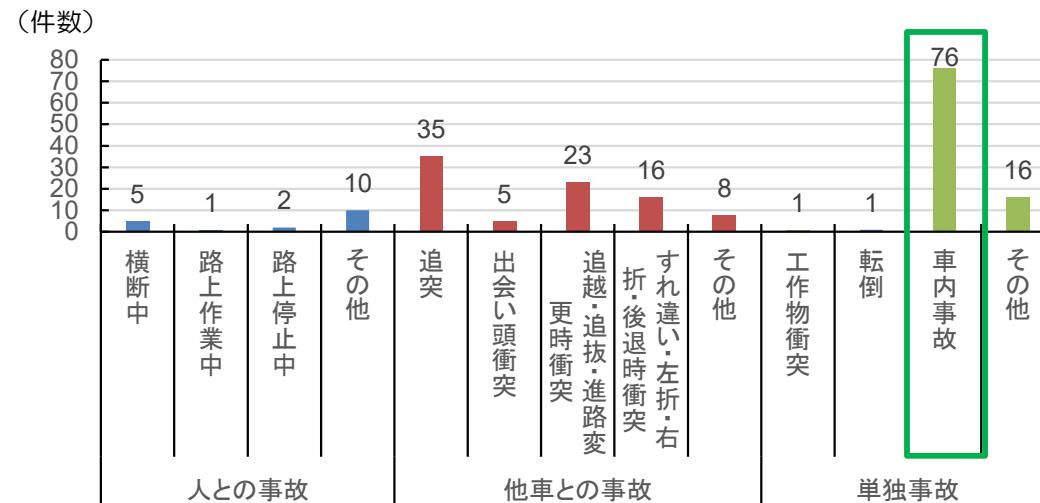
- 近畿における乗合バスの事故類型としては、「車内事故」が全体の4割近い76件発生しており、最多。

乗合バスの事故類型



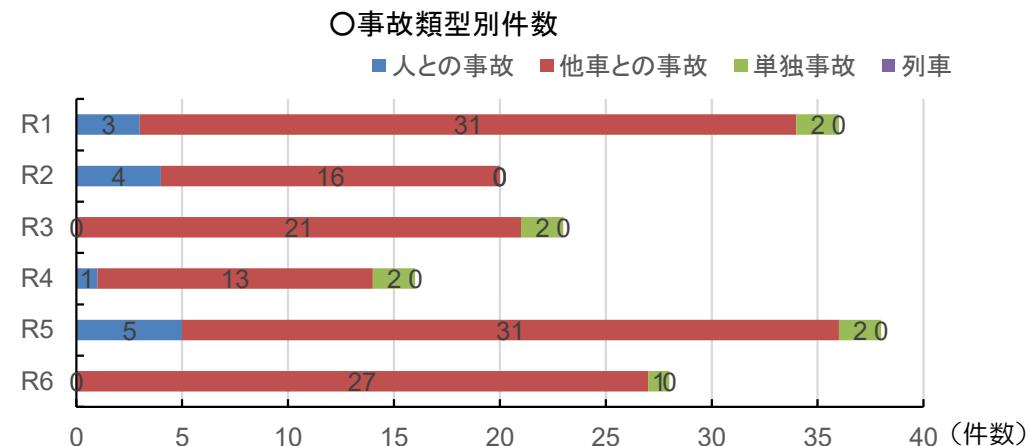
乗合バス
【重点個別目標】
車内事故件数
30件以下

○令和6年事故類型別事故件数の内訳

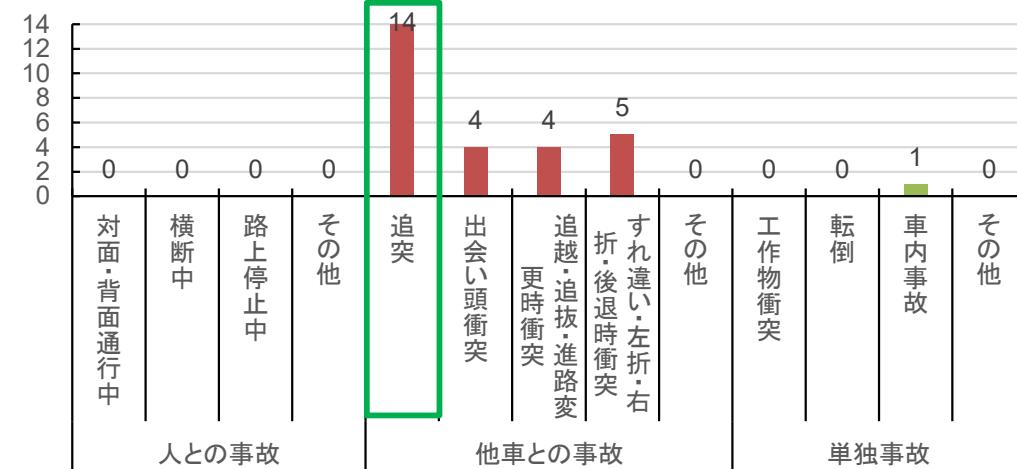


- 貸切バスの事故類型としては、「追突」が全体の約5割にあたる14件発生しており、最多。
- 令和6年の乗客負傷事故は1件、負傷者は1人(軽傷)。

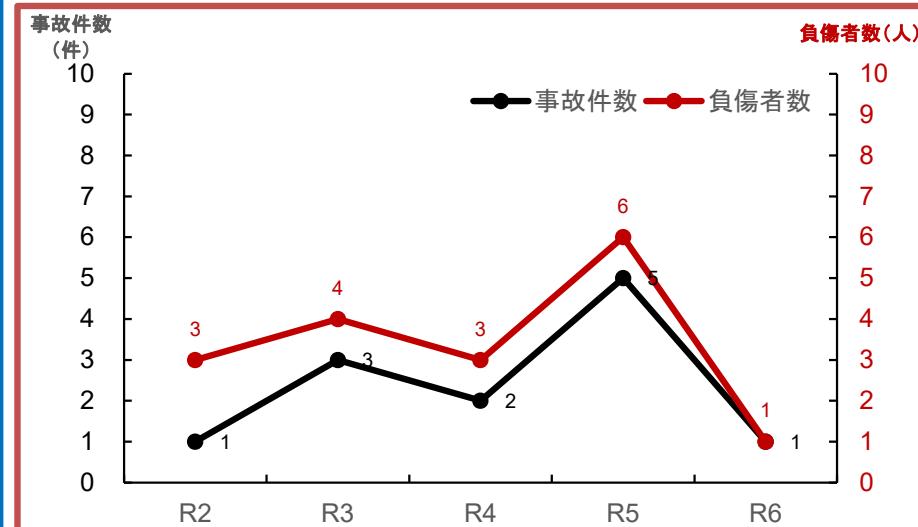
貸切バスの事故類型



○令和6年事故類型別事故件数の内訳



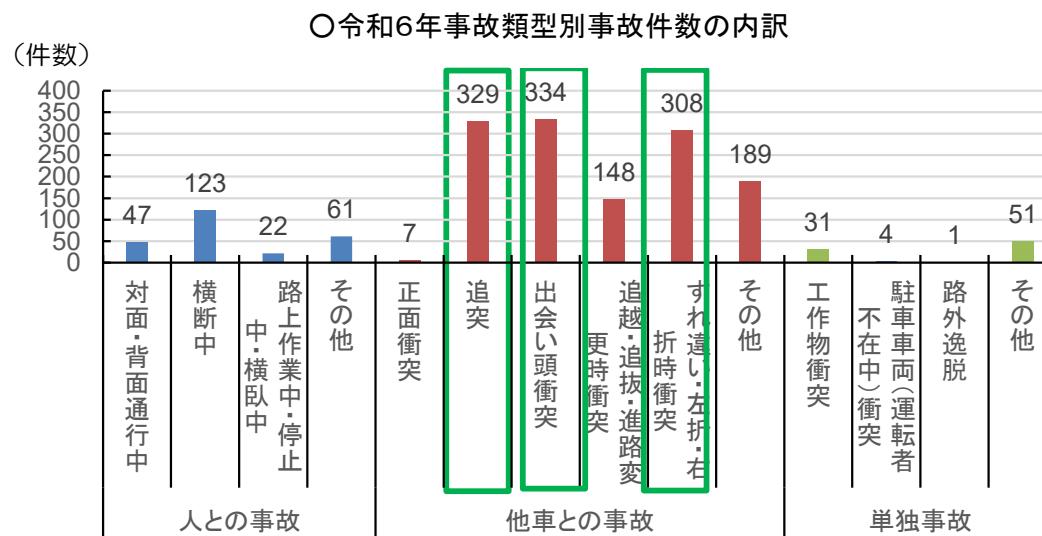
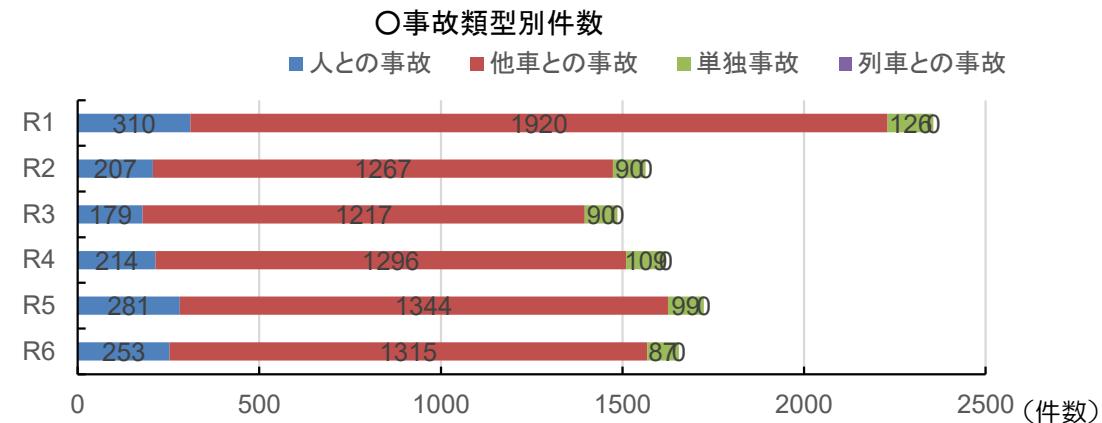
貸切バス
【重点個別目標】
乗客負傷事故件数
0件



※運転者が第1当事者となった事故のうち同乗者が死傷(死亡、重傷、軽傷)した事故件数

- タクシーの事故類型としては、「追突」、「出会い頭衝突」、「右左折時等の衝突」が多い。

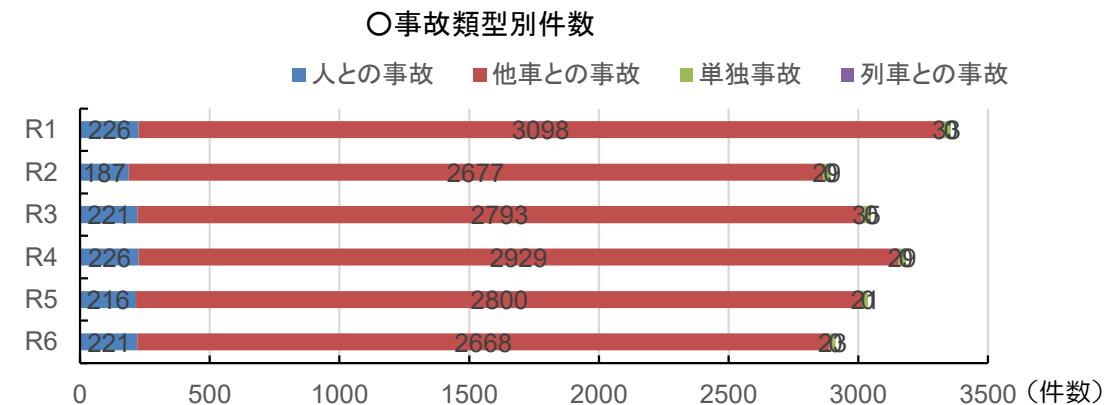
タクシーの事故類型



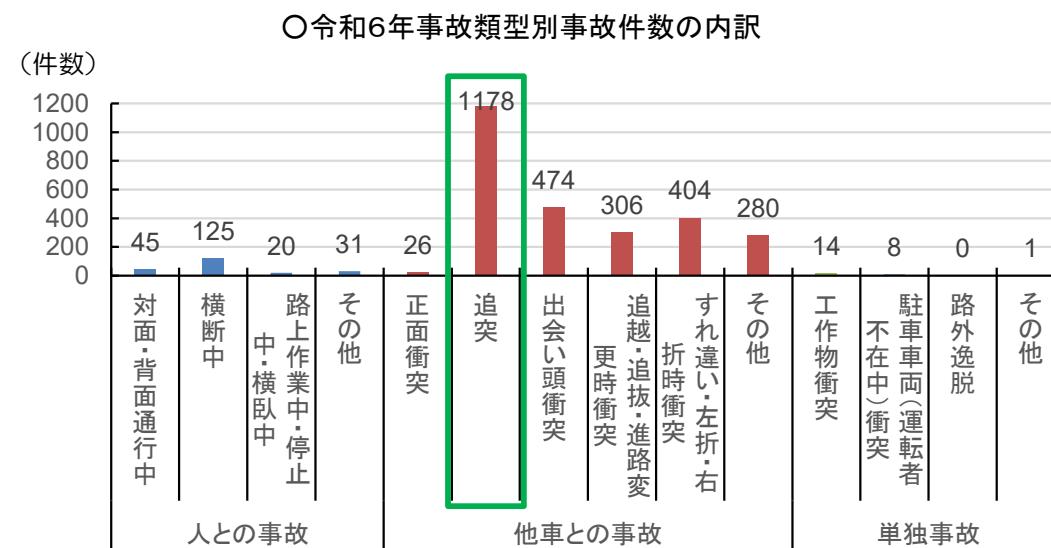
タクシー
【重点個別目標】
出会い頭衝突事故
件数160件以下

- トラックの事故類型としては、「追突」が全体の約4割にあたる1,178件発生しており、最多。

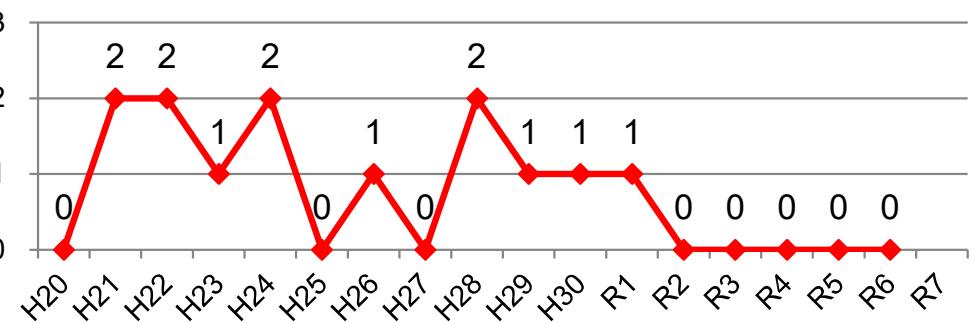
トラックの事故類型



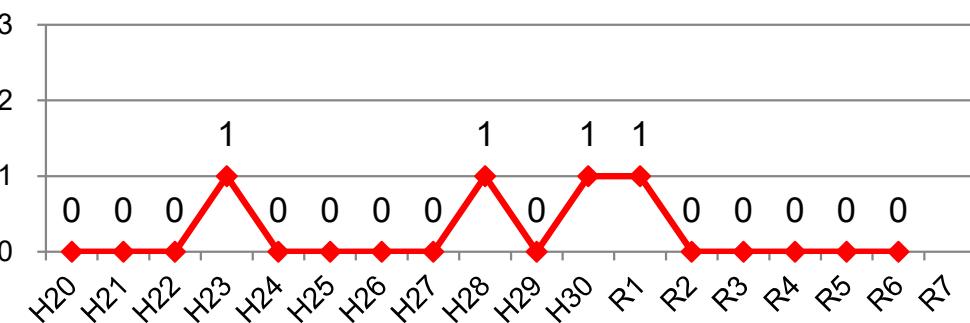
トラック
【重点個別目標】
追突事故件数
705件以下



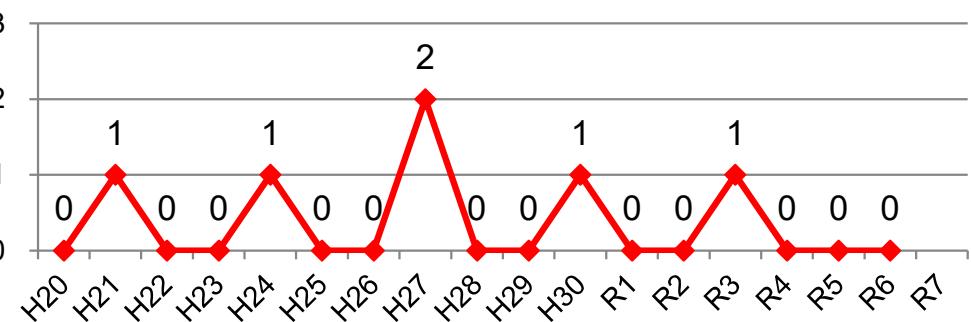
(大阪府)



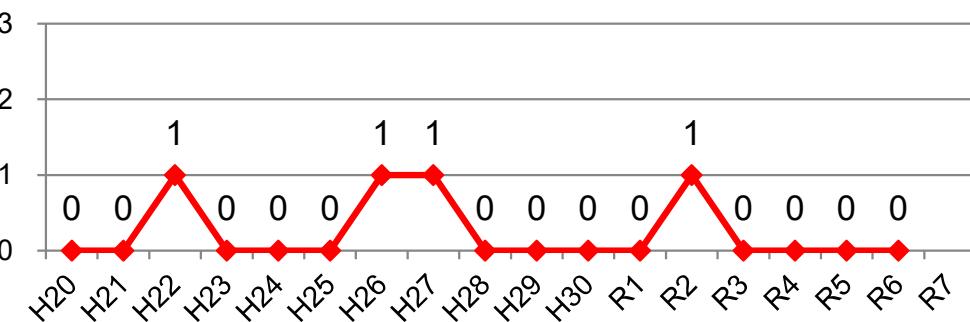
(滋賀県)



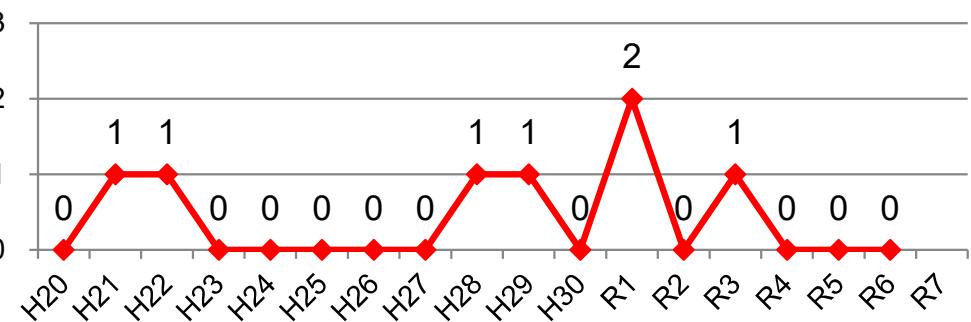
(京都府)



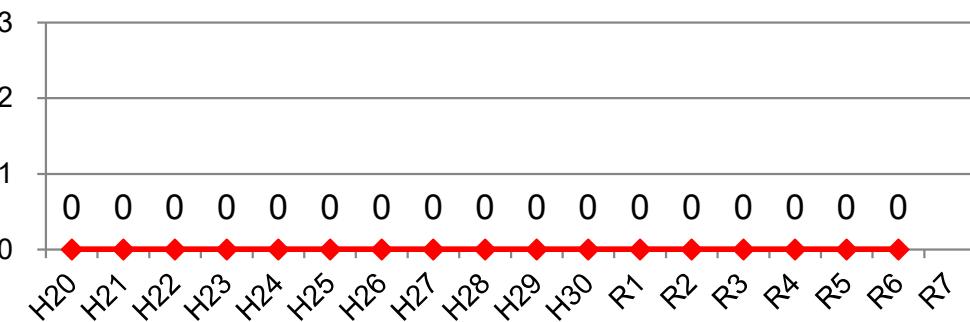
(奈良県)



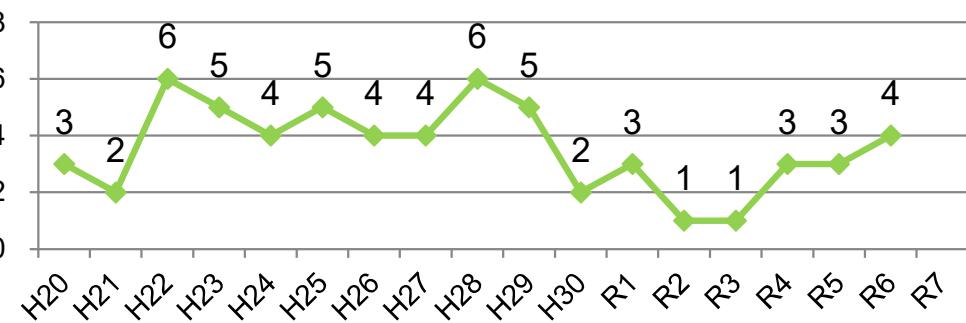
(兵庫県)



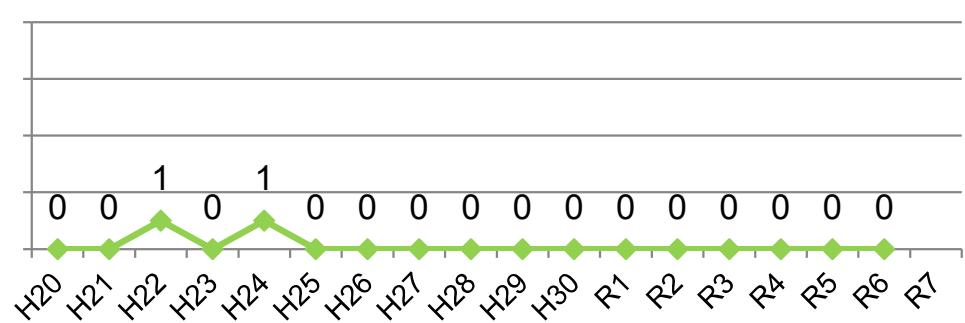
(和歌山県)



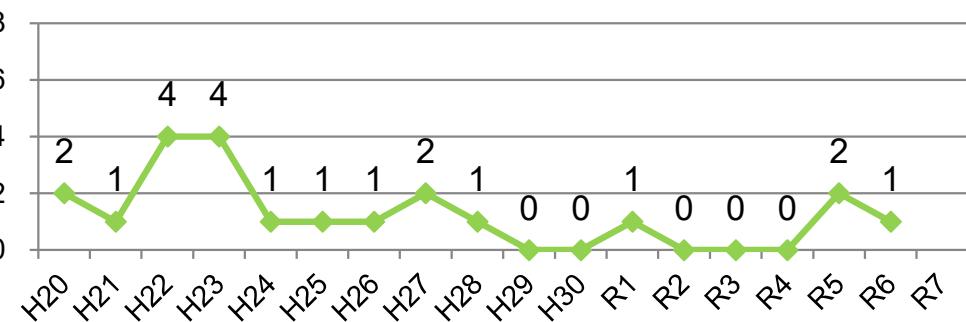
(大阪府)



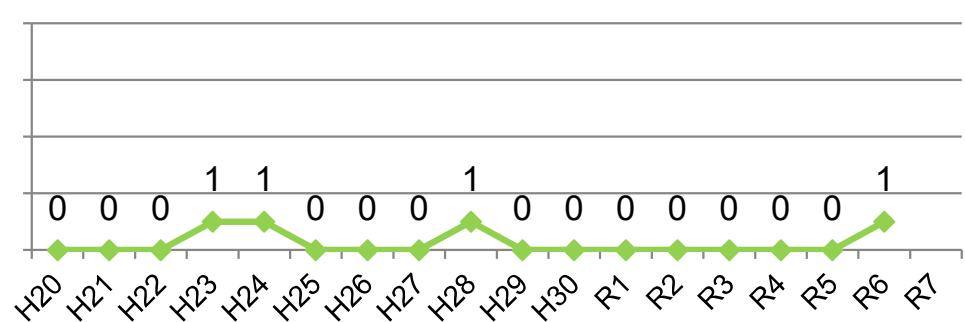
(滋賀県)



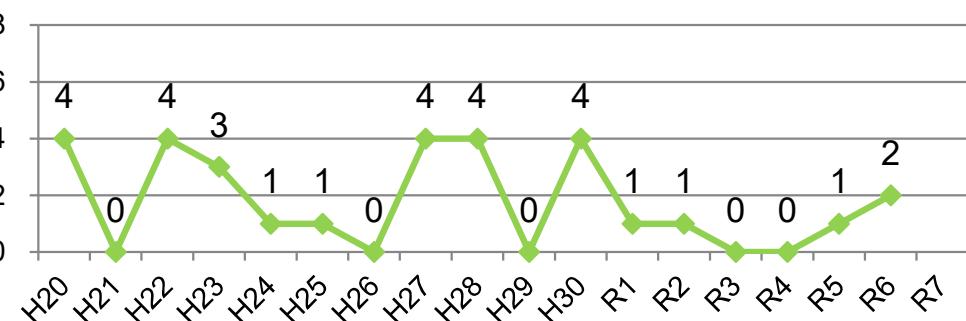
(京都府)



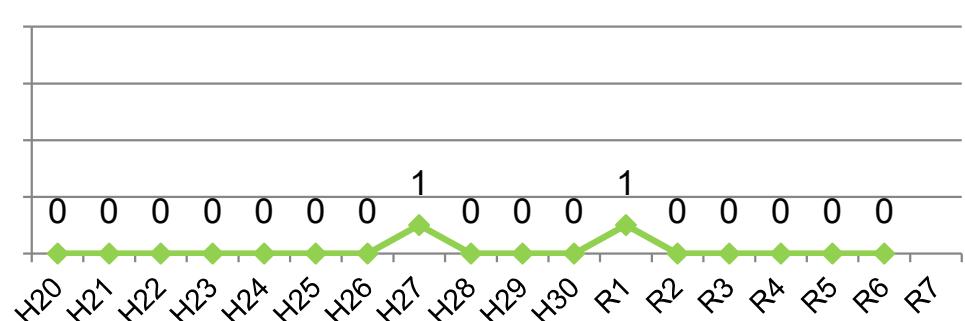
(奈良県)



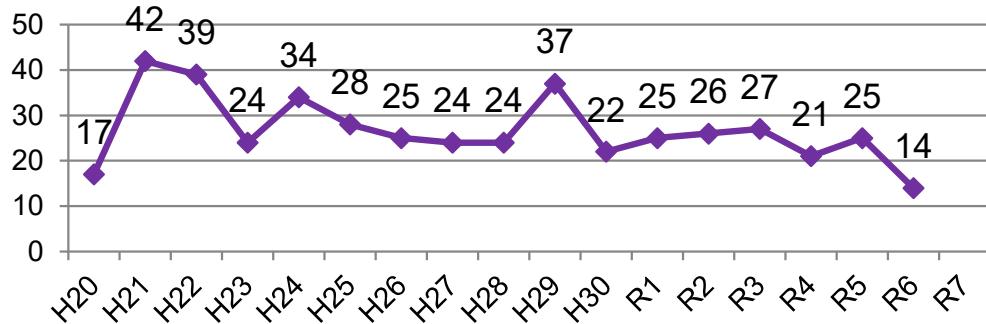
(兵庫県)



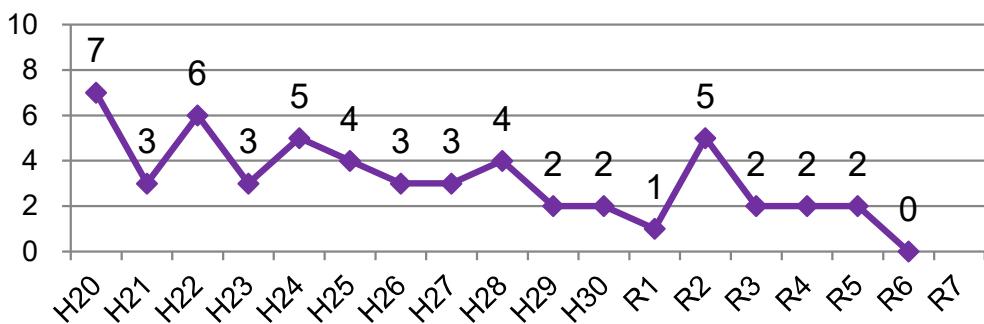
(和歌山県)



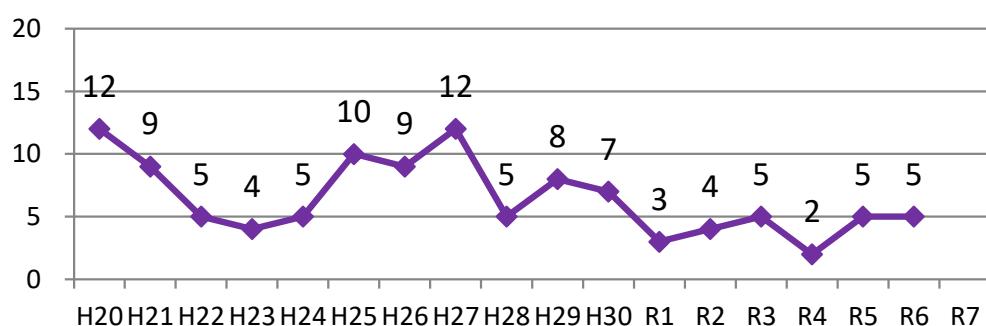
(大阪府)



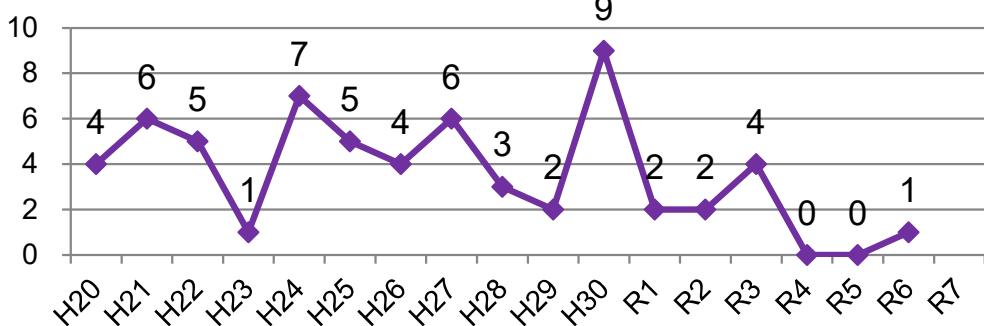
(滋賀県)



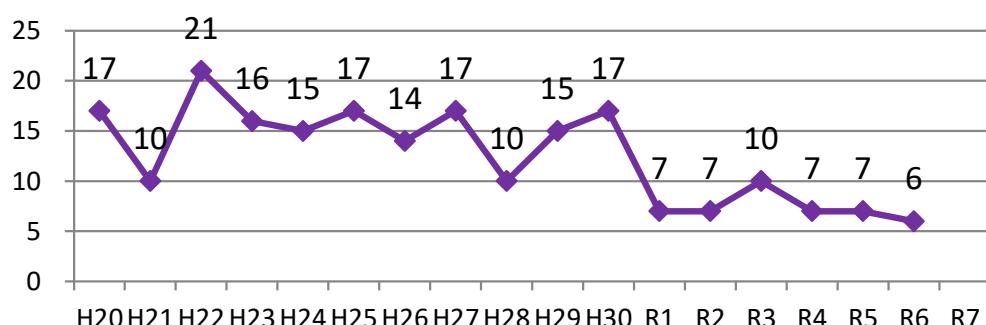
(京都府)



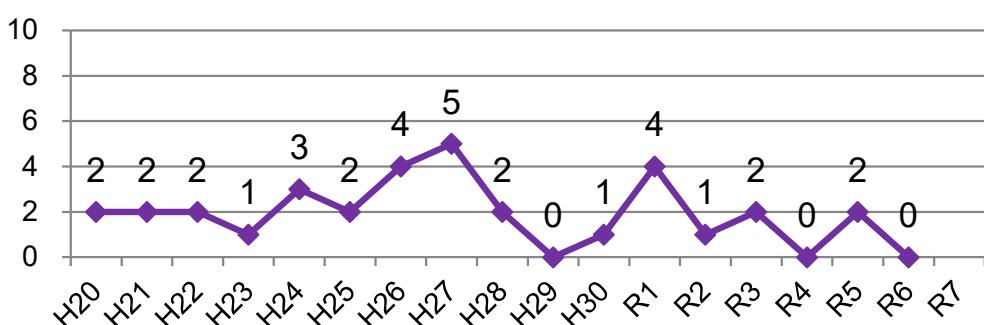
(奈良県)



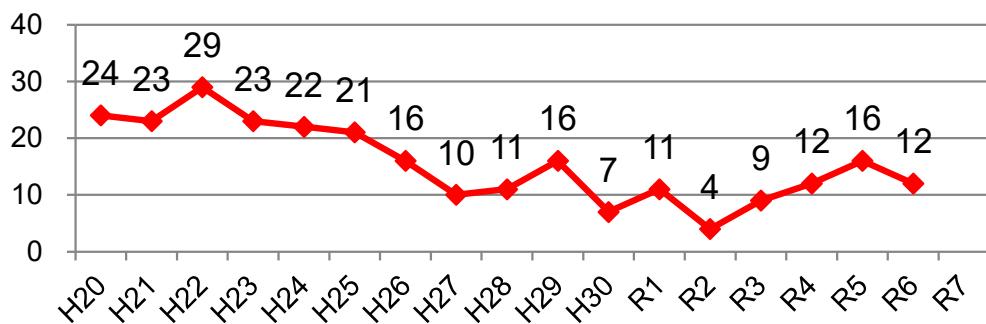
(兵庫県)



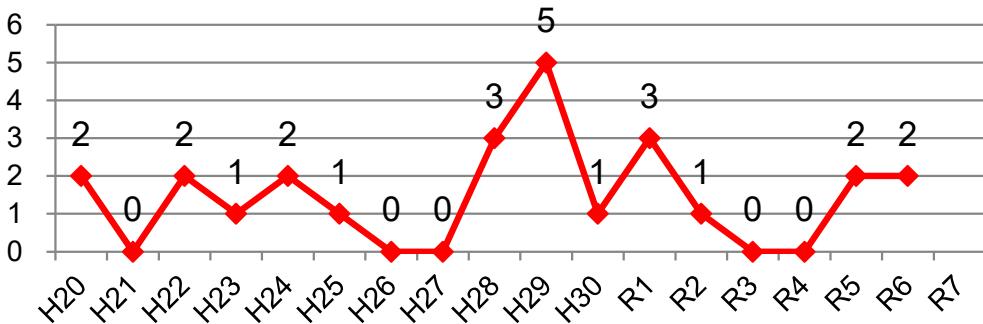
(和歌山県)



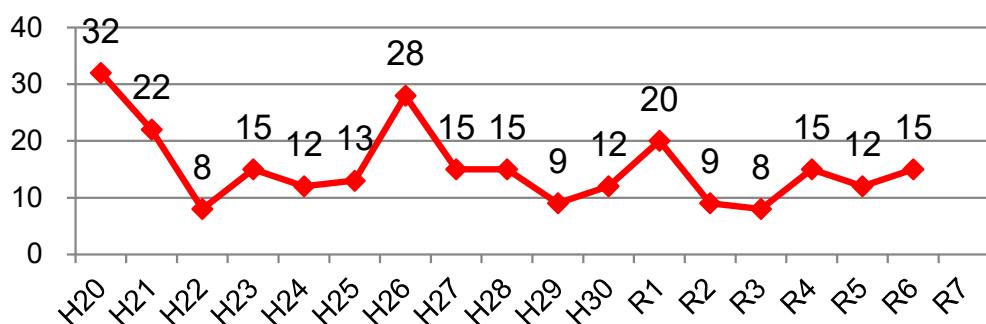
(大阪府)



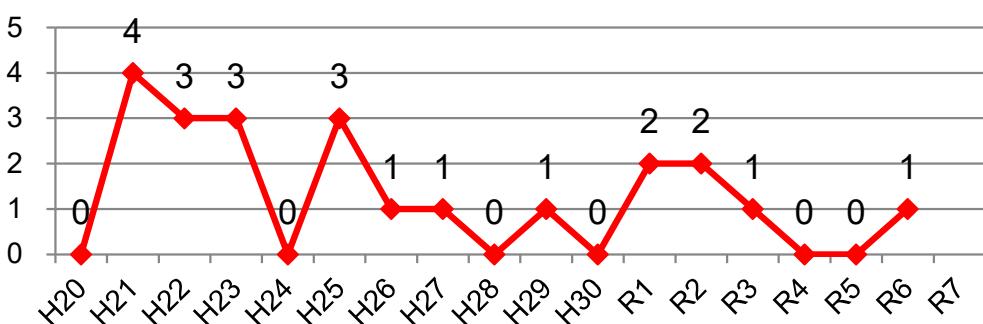
(滋賀県)



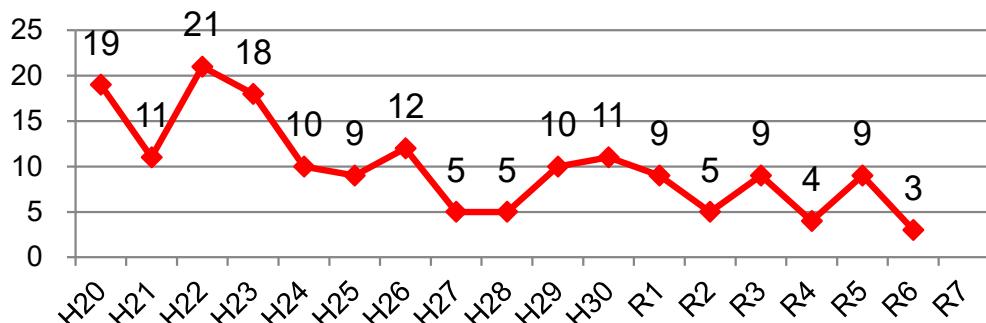
(京都府)



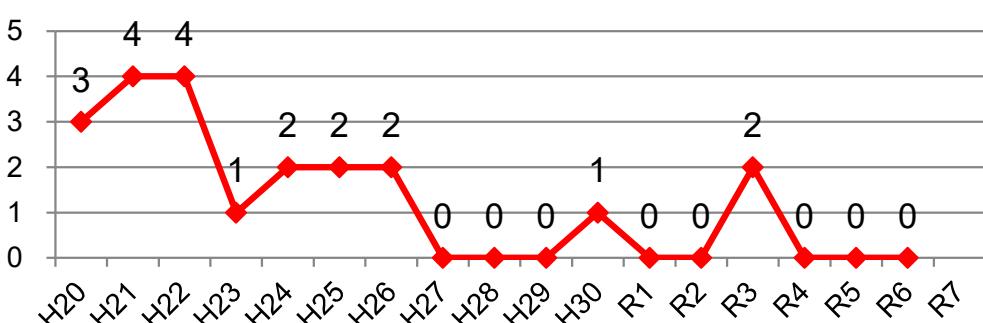
(奈良県)



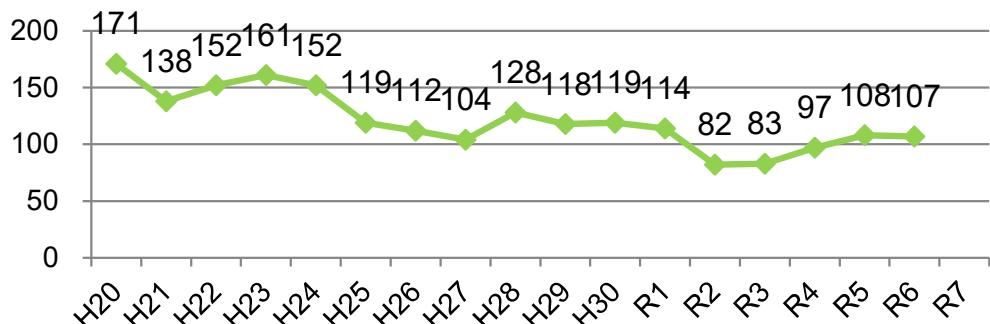
(兵庫県)



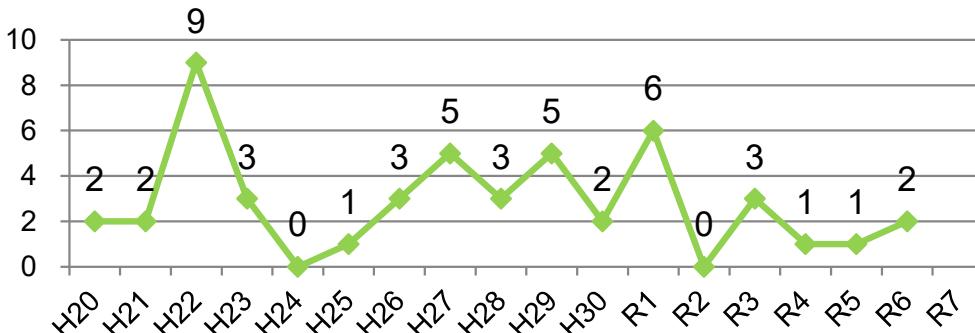
(和歌山県)



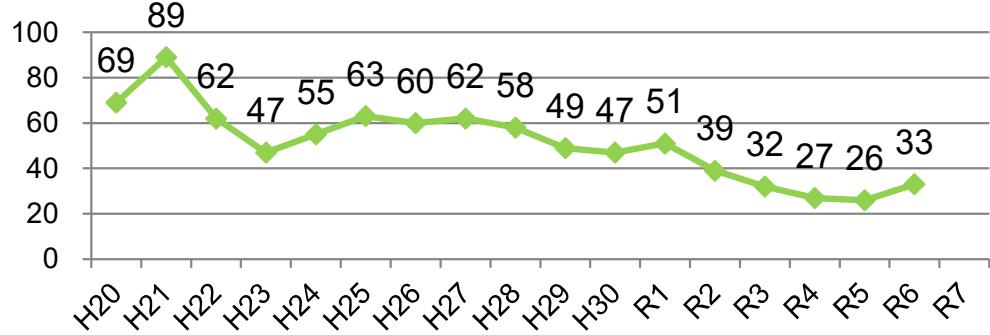
(大阪府)



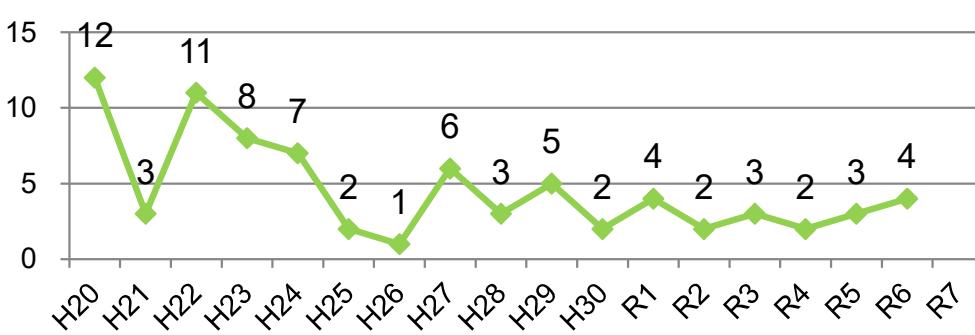
(滋賀県)



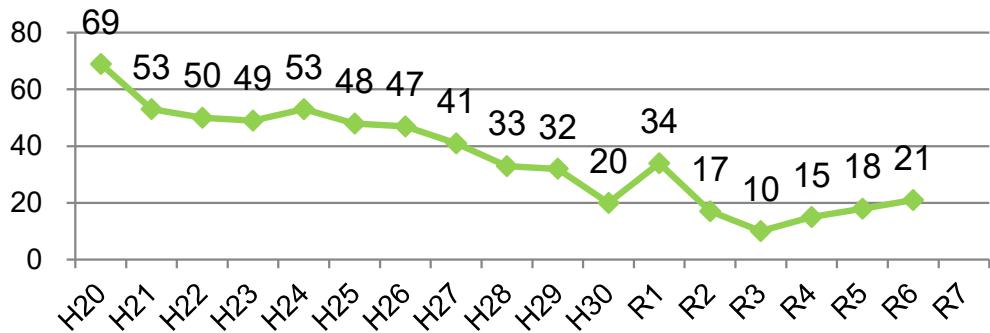
(京都府)



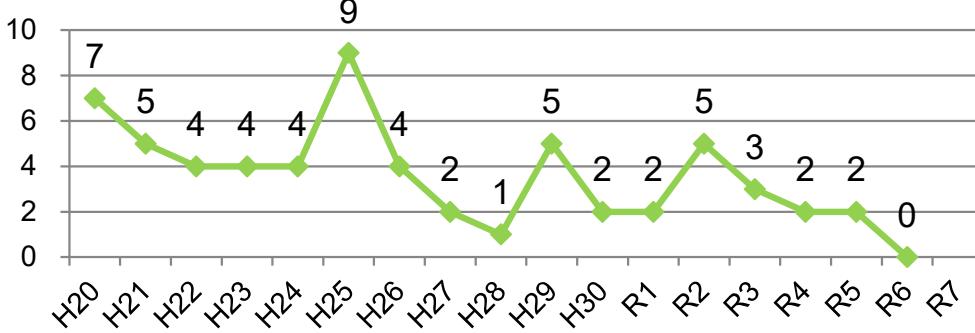
(奈良県)



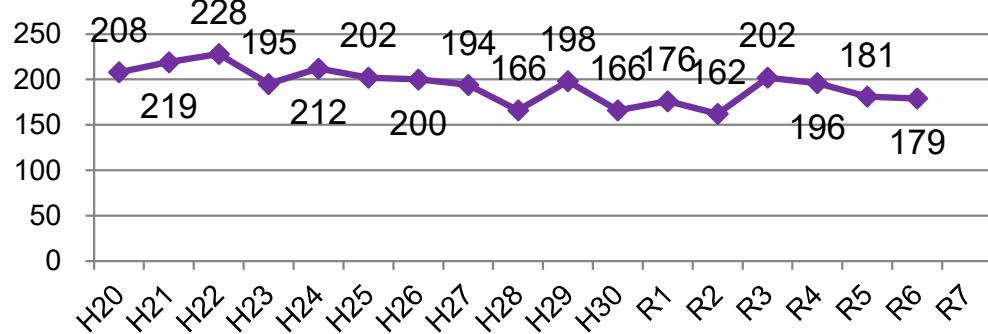
(兵庫県)



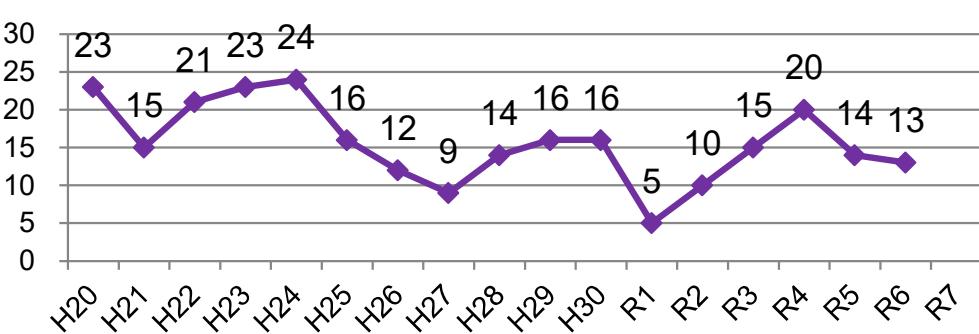
(和歌山県)



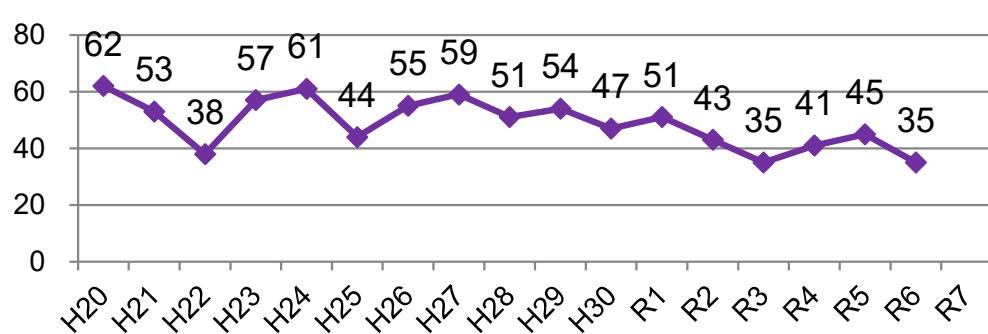
(大阪府)



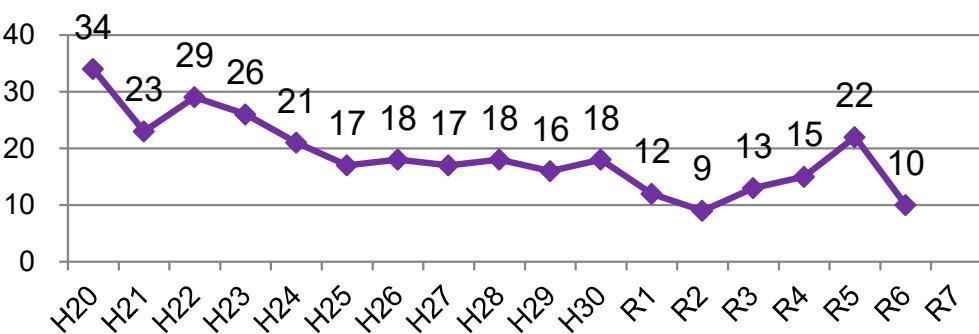
(滋賀県)



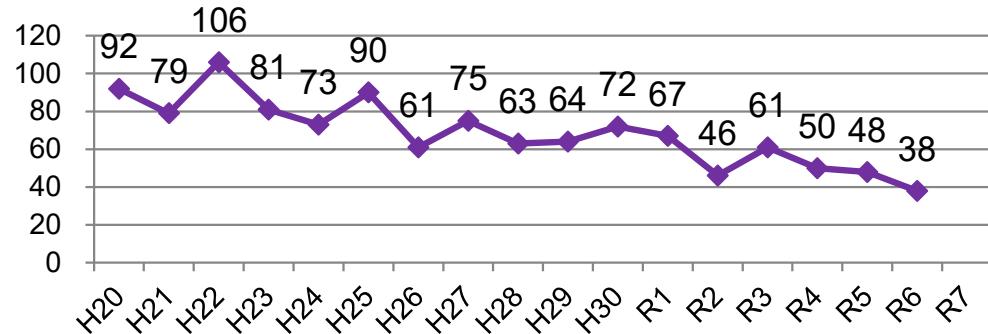
(京都府)



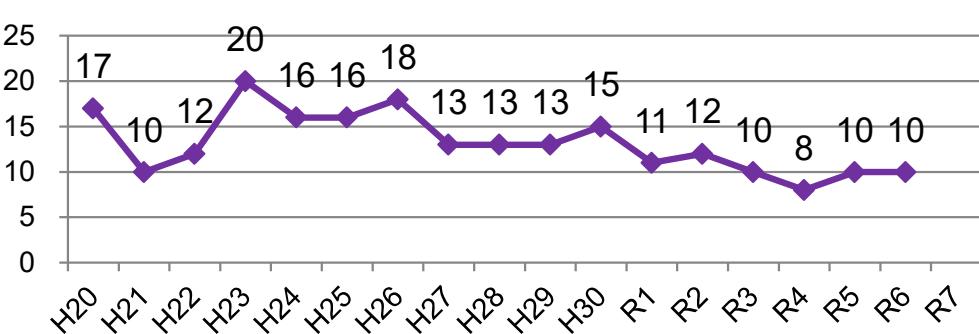
(奈良県)



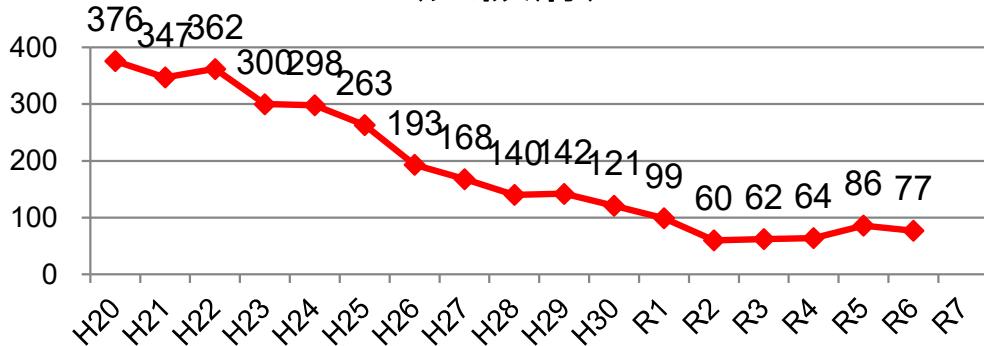
(兵庫県)



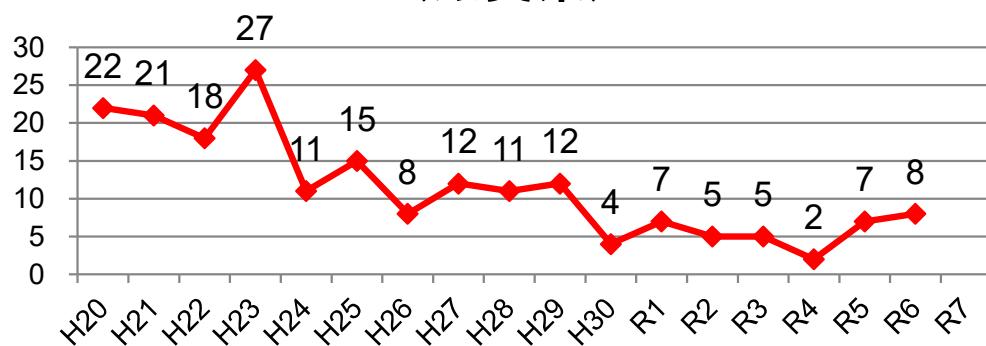
(和歌山県)



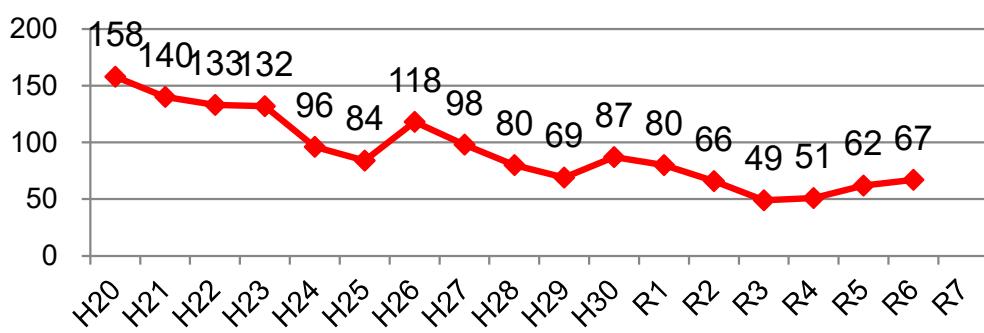
(大阪府)



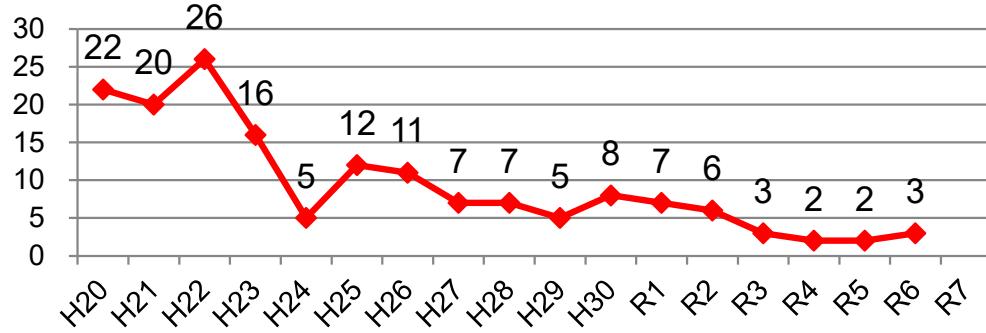
(滋賀県)



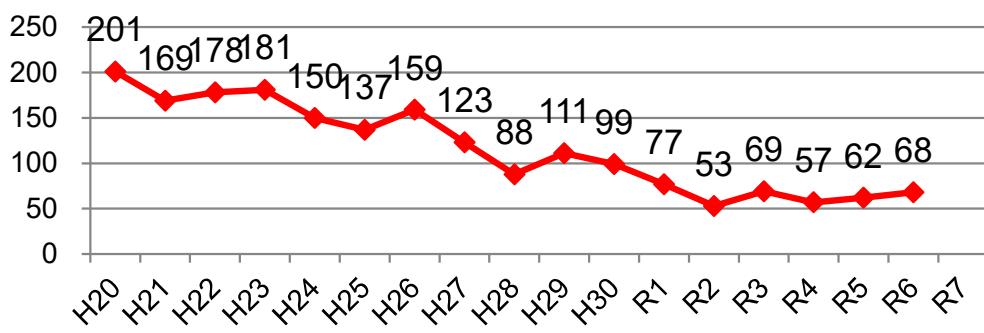
(京都府)



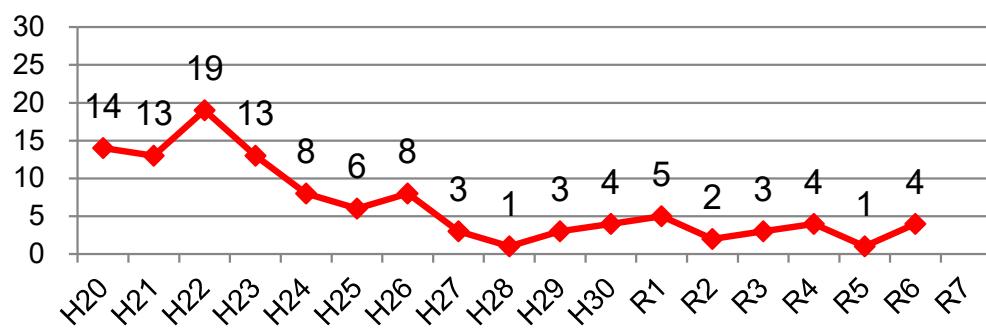
(奈良県)



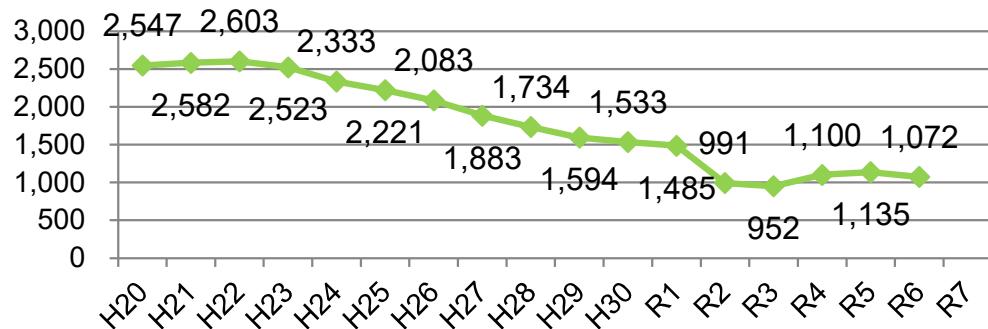
(兵庫県)



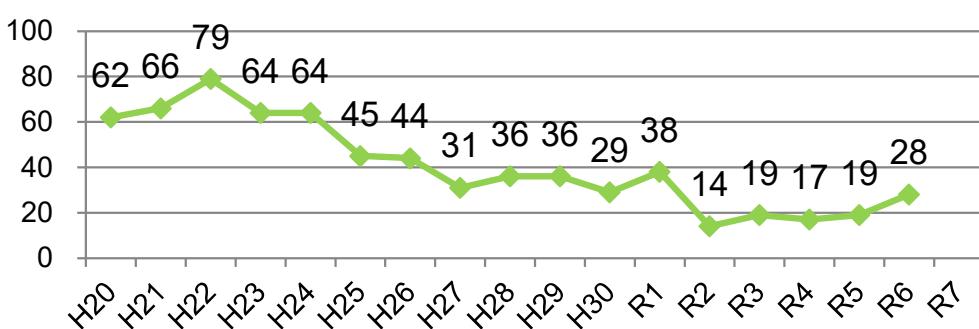
(和歌山県)



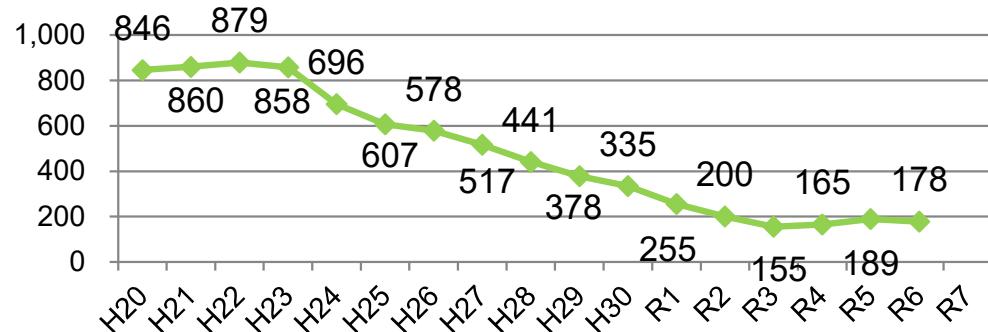
(大阪府)



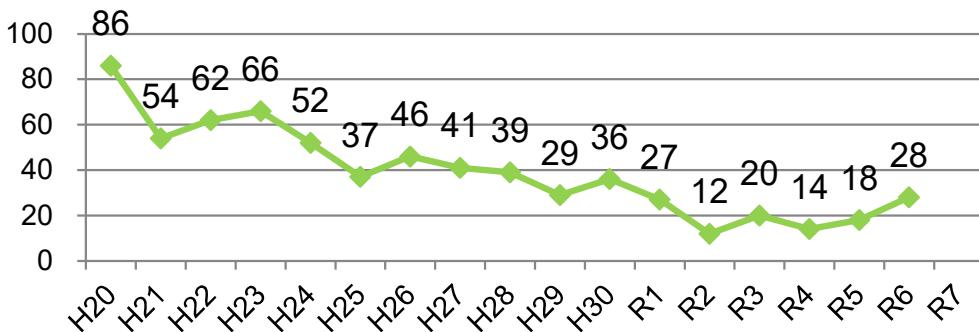
(滋賀県)



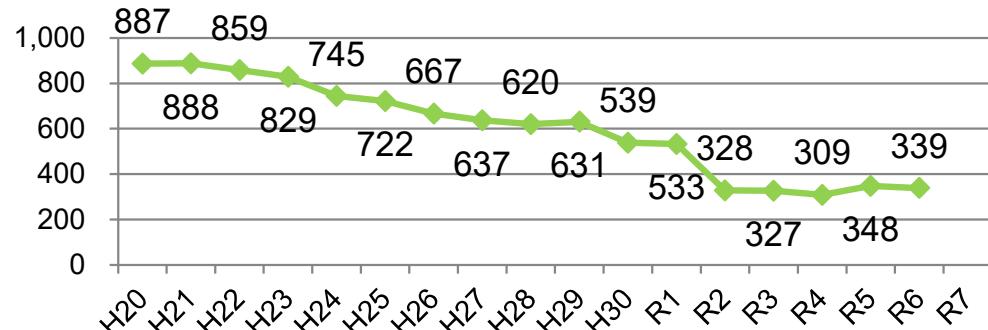
(京都府)



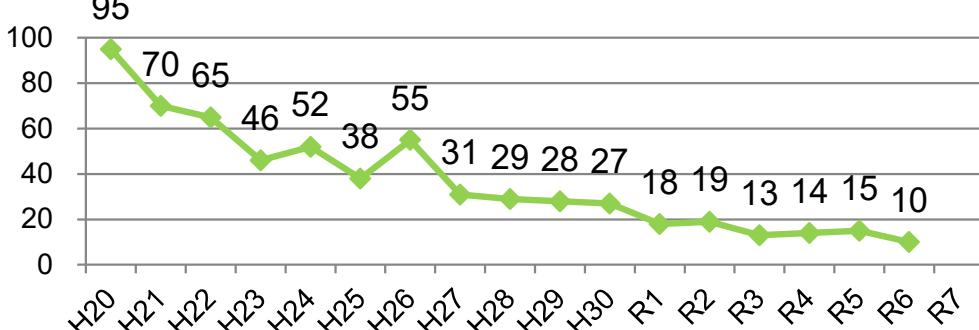
(奈良県)



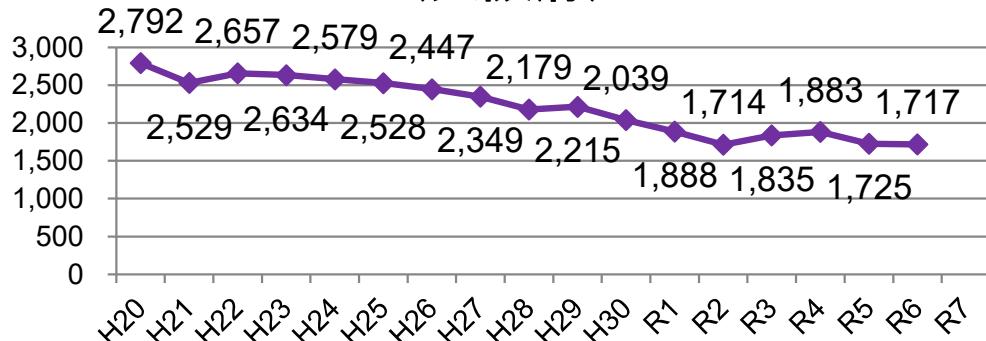
(兵庫県)



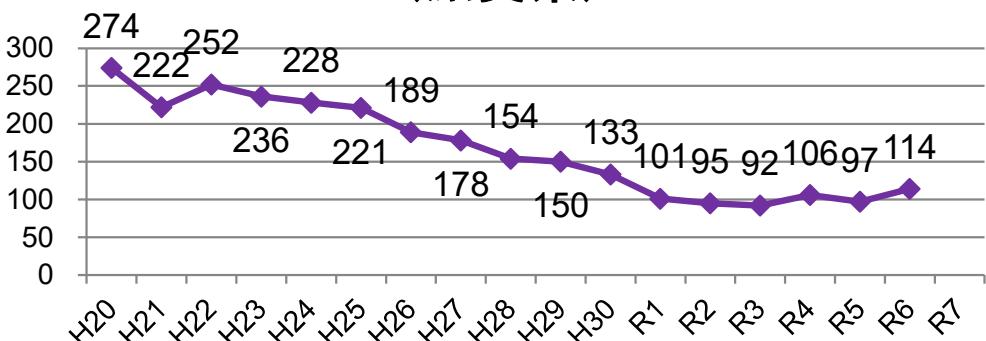
(和歌山県)



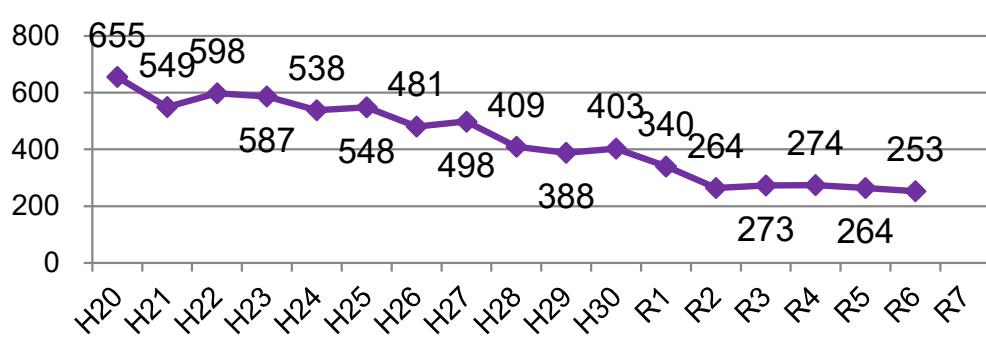
(大阪府)



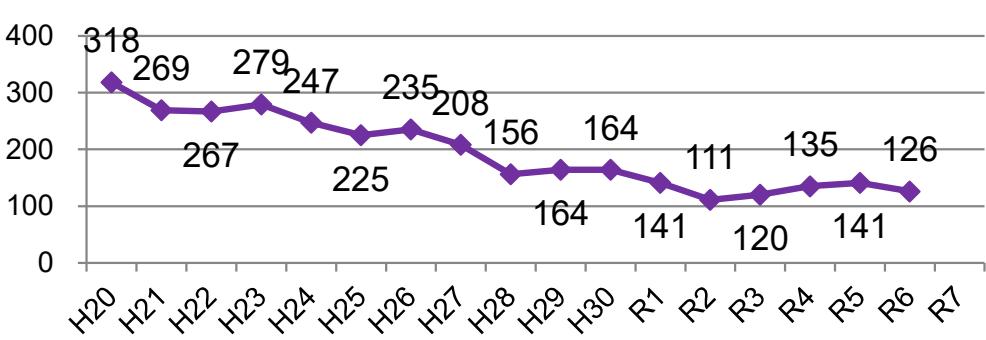
(滋賀県)



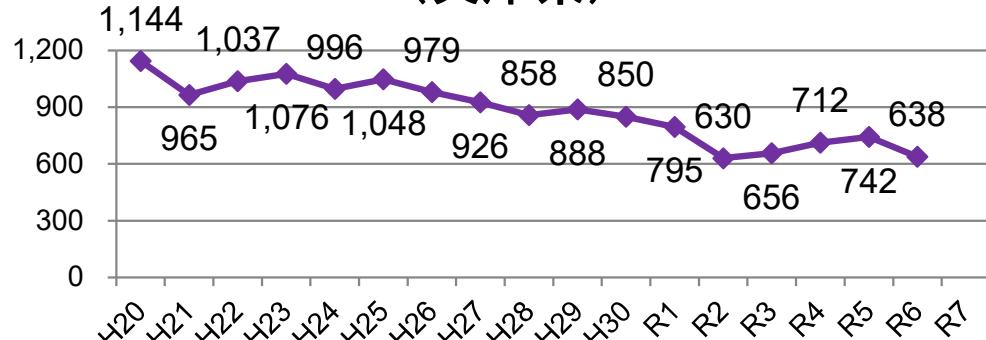
(京都府)



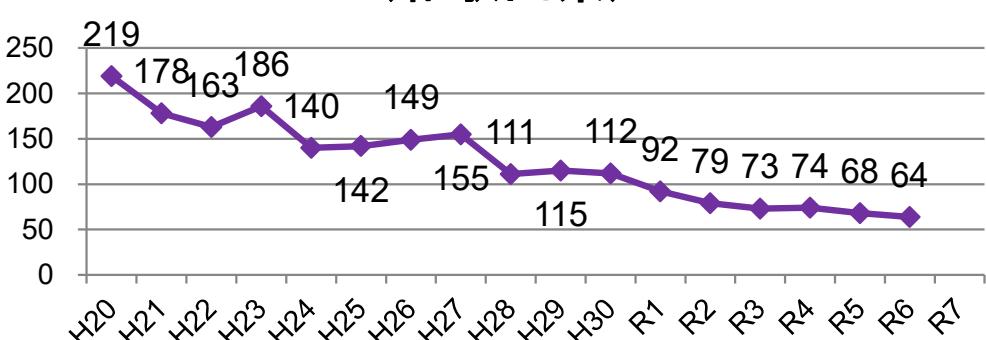
(奈良県)



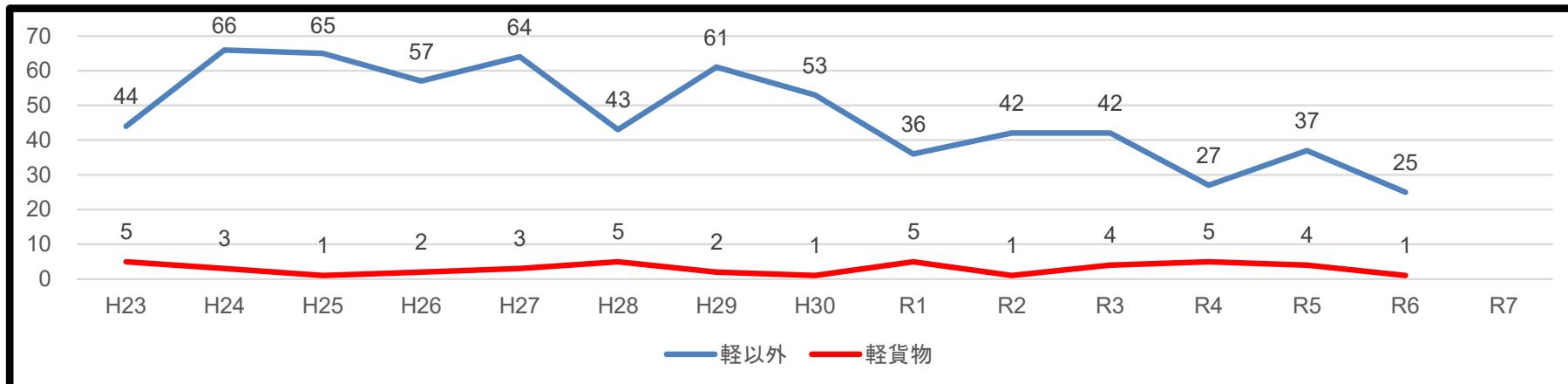
(兵庫県)



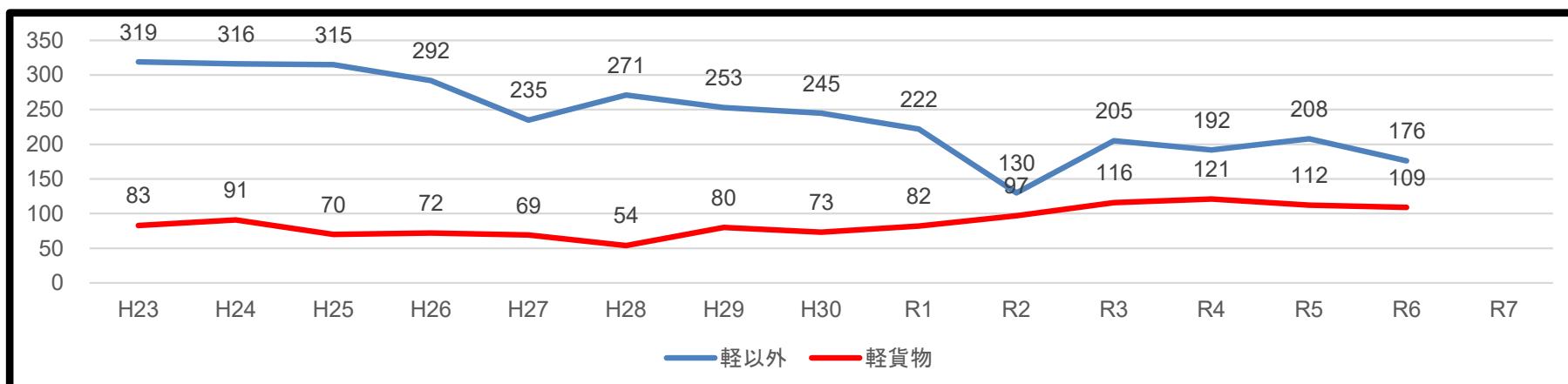
(和歌山県)



死者数



重傷者数



人身事故件数

